

# 電子納品チェックシステム（電気通信設備編）

Ver3.6

利用マニュアル

平成 19 年 4 月

国土交通省

## －目次－

1	電子納品チェックシステムの概要.....	1
1.1	システムの基本機能.....	1
1.2	システムの動作環境.....	1
1.3	本バージョン（Ver3.X）で追加したチェックの範囲.....	2
2	画面の流れ .....	4
3	操作説明 .....	5
3.1	基本操作 .....	5
3.1.1	機能ボタン.....	5
3.1.2	メニューバー.....	5
3.1.3	タブ .....	5
3.2	チェック操作 .....	6
3.2.1	データのチェック.....	6
3.2.2	メッセージ.....	11
3.2.3	結果出力 .....	18
3.3	集計の操作 .....	20
3.3.1	管理ファイルの有無.....	20
3.3.2	ファイル集計.....	21
3.3.3	ファイルの有無.....	21
3.4	電子成果品ビューアの操作.....	22
3.5	環境設定 .....	23
4	メッセージ対応表 .....	24
4.1	ファイル構成に関するメッセージ.....	24
4.2	XML構成に関するメッセージ.....	25
4.3	要素内容に関するメッセージ.....	26
4.4	PDFに関するメッセージ.....	71
4.5	CADに関するメッセージ.....	72

# 1 電子納品チェックシステムの概要

## 1.1 システムの基本機能

電子納品チェックシステムは電子成果品（CD-R 等）のデータが国土交通省の電子納品に係わる要領/基準（案）に従って作成されているか、チェックを行うためのシステムです。主な機能は以下のとおりです。

機能	概要
データチェック機能	電子成果品（CD-R 等）のフォルダ構成、ファイル名、XML 文法、XML 要素内容が、電子納品に係わる要領/基準（案）に従っているかチェックを行う機能。
簡易ビューア機能	電子成果品（CD-R 等）に格納されているファイルを閲覧する機能。XML ファイル、画像ファイル及びその他のファイルの内容を表示する機能。

## 1.2 システムの動作環境

電子納品チェックシステムの必要動作環境

CPU : PentiumIII 800MHz 以上  
メモリ : 256MB 以上  
ハードディスク空き容量 : 100MB 以上  
周辺機器 : CD-ROM ドライブ  
OS : Windows XP  
Windows 2000 (SP4)

大容量の電子成果品をチェックする場合（写真ファイルが 1000 ファイルを超える場合など）には高性能なコンピュータのご利用をおすすめします。また、CAD ファイルについて、100MB を超えるようなファイルサイズの P21 のレイヤ名チェックについては、高性能なコンピュータにおいても動作が極端に遅くなる場合があります。

「高性能なコンピュータの例」

CPU : Pentium4 3GHz  
メモリ : 1GB

電子納品チェックシステム(電気通信設備編)Ver3.6 では、XML Parser として Microsoft XML Parser (MSXML) を利用します。MSXML につきましては、「電子納品チェックシステム V6.6(電気通信設備編 Ver3.6)セットアップマニュアル」を参照下さい。

### 1.3 本バージョン (Ver3. X) で追加したチェックの範囲

#### (1) Ver6.6 で追加したチェックの範囲

電子納品チェックシステム(電気通信設備編)Ver3.6 は、「デジタル写真管理情報基準(案) H18.1」の「PHOTO04.DTD」に対応しました。また、「電子納品運用ガイドラン(案)【測量編】 H18.9」に対応しました。電子納品チェックシステムのバージョンとチェック対象ファイルの関係を下表に示します。

電子納品チェックシステム Ver6.6 追加機能対応表 (その1)

チェック対象のファイル(デジタル写真管理情報基準(案)のXMLファイル)の種類	DTDバージョン	チェックシステム Ver3.5	チェックシステム Ver3.6
管理ファイル [PHOTO.XML]	04	-	○
	03	○	○

電子納品チェックシステム Ver6.6 追加機能対応表 (その2)

チェック対象のファイル(測量成果電子納品要領(案)のXMLファイル)の種類	チェック対象	チェックシステム Ver3.5	チェックシステム Ver3.6
管理ファイル [SURVEY.XML], [SURV_XXX.XML]	ガイドライン含む	-	○
	要領のみ	○	○

#### (2) Ver6.5 で追加したチェックの範囲

電子納品チェックシステム Ver6.5 は、Ver6.0 に「デジタル写真管理情報基準(案) H18.1」に従い作成された電子成果品のチェック機能を追加したものです。電子納品チェックシステムのバージョンとチェック対象ファイルの関係を下表に示します。

電子納品チェックシステム Ver3.5 追加機能対応表

チェック対象のファイル(デジタル写真管理情報基準(案)のXMLファイル)の種類	要領の版	チェックシステム Ver3.0	チェックシステム Ver3.5
管理ファイル [PHOTO.XML]	H16.6	○	○
	H18.1	×	○※

※ 対応する DTD は、PHOTO03.DTD です。

### (3) Ver6.0 で追加したチェックの範囲

電子納品チェックシステム(電気通信設備編)Ver3.0は、Ver2.0に「地質・土質調査成果電子納品要領(案)H16.6」に従い作成された電子成果品のチェック機能を追加したものです。電子納品チェックシステムのバージョンとチェック対象ファイルの関係を下表に示します。

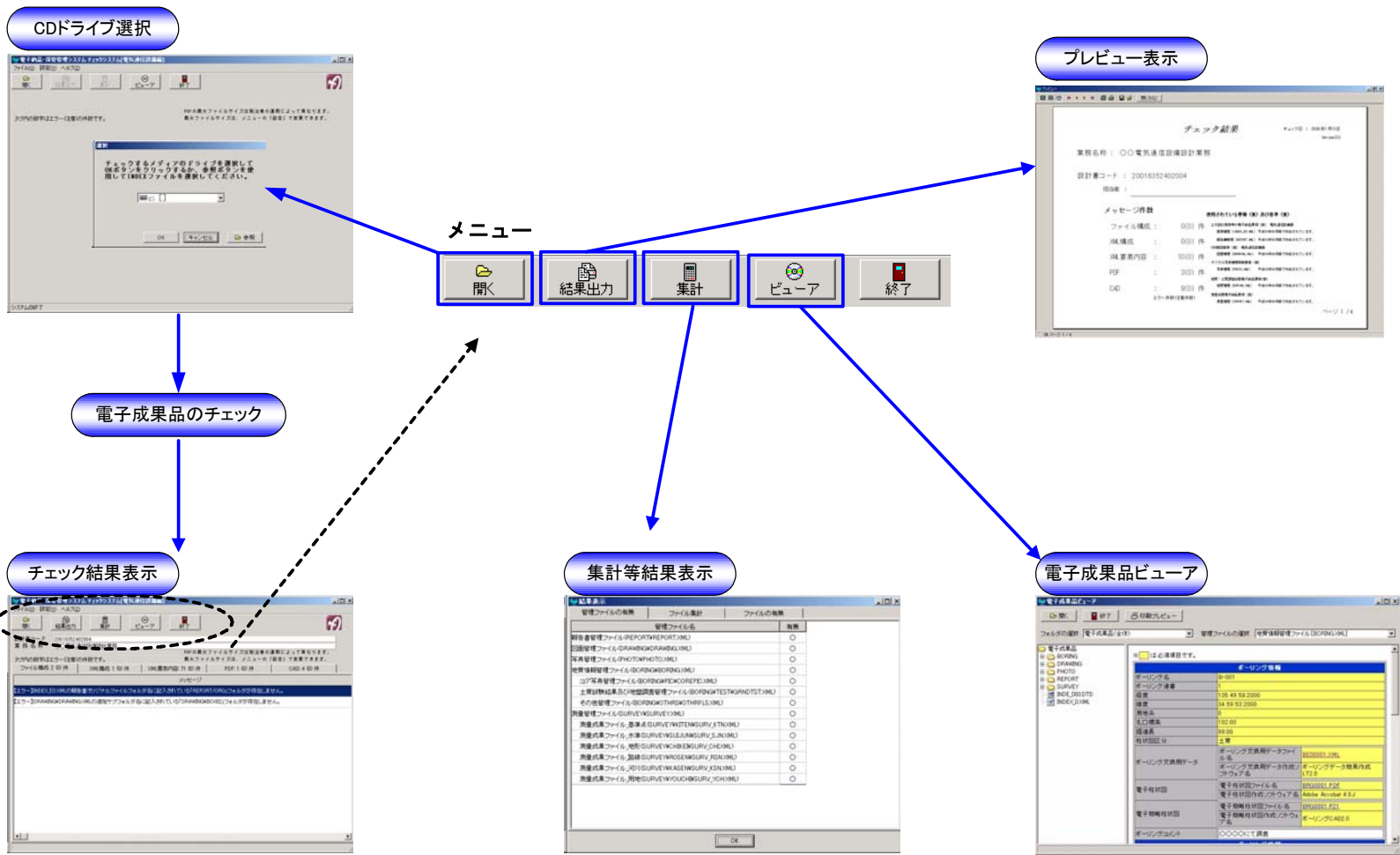
電子納品チェックシステム Ver3.0 追加機能対応表

チェック対象のファイル（地質・土質調査成果電子納品要領(案)のXMLファイル）の種類	要領の版	チェックシステム Ver2	チェックシステム Ver3
管理ファイル [BORING.XML、COREPIC.XML、GRNDTST.XML、OTHRFLS.XML]	H15.7	○	○
	H16.6	×	○
ボーリング交換用データ、土質試験結果一覧表データ [BEDnnnn.XML、STLIST.XML]	H15.7	○	○
	H16.6	×	○
データシート交換用データ [TSnnnmmm.XML]	土質試験	H15.7	○
		H16.6	×
	地盤調査	H16.6	×

(凡例：○対応済、×未対応)

※ データシート交換用データ（地盤調査）のチェックは、XML構成に関するチェック（DTDに従い作成されていることの確認）と「標題情報」のXML要素内容に関するチェック（必須記入項目の記入の確認など）となります。

## 2 画面の流れ



## 3 操作説明

### 3.1 基本操作

電子納品チェックシステムの各画面における基本的な操作方法を記します。

#### 3.1.1 機能ボタン

チェック操作は、機能ボタンで行います。

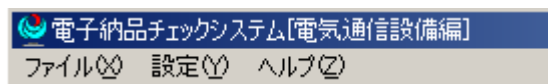
利用できるボタンは黒字で表示され、利用できないボタンは白抜きで表示されま  
す。



#### 3.1.2 メニューバー

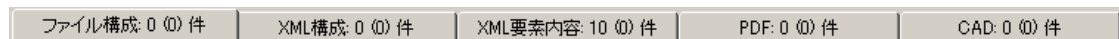
メニューバーの「ファイル(X)」をクリックすると、機能ボタンの各機能をクリッ  
クした時と同じ機能を選択できます。

メニューバーからは、環境の「設定(Y)」及び「ヘルプ(Z)」の確認を行うことが  
できます。



#### 3.1.3 タブ

チェック結果の画面は複数のページから構成されています。タブをクリックする  
ことで表示するページが切り替わります。



タブ中の数字は、エラー件数、括弧の中は注意件数を表しています。

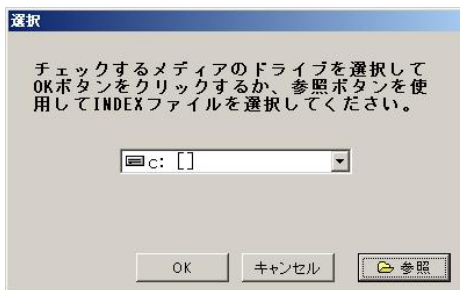
## 3.2 チェック操作

### 3.2.1 データのチェック

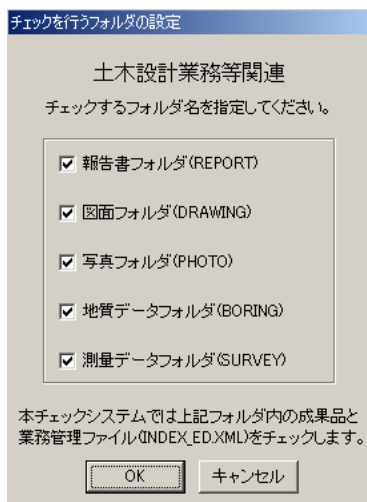
INDEX\_EC.XML、INDEX\_ED.XML が平成 16 年 6 月版で作成されていると(c)、(d) は表示されません。

(a) 電子成果品 (CD-R 等) をドライブに挿入し「開く」ボタンをクリックして下さい。なお、電子納品チェックシステム起動時は、自動的に(b)ドライブ選択画面が表示されます。

(b) ドライブ選択画面が表示されますので、チェックする電子成果品 (CD-R 等) を挿入しているドライブを選択して「OK」をクリックして下さい。また、「参照」ボタンをクリックするとファイル選択画面が表示されるので、ハードディスク上の業務管理ファイル (INDEX\_D.XML) 又は工事管理ファイル (INDEX\_C.XML) を選択して下さい。



次に、チェックするフォルダを選択して下さい。既定値では、全てをチェックする様に設定されています。最終成果をチェックする場合は、全てチェックを行って下さい。





- (c) チェックを行うフォルダの設定で、図面フォルダ、発注図面フォルダ、完成図面フォルダのいずれか一つでも選択されている場合は、図面工種の選択画面が表示されます。

**CADファイルチェック方法の選択**

このウィンドウは図面フォルダのチェックを指定した場合のみ開かれます。

**(1)対象外工種の有無**

1)  CAD製図基準(案)電気通信設備編の対象外工種あり  
ファイル名(図面種類)、レイヤ名(図面オブジェクト、作図要素)のチェックは行いません。

**(2)ファイル名、レイヤ名等の追加**

ファイル名、レイヤ名の追加は受発注者協議が必要となります。  
ファイル名、レイヤ名の追加を行った場合は(ファイル名、レイヤ名の追加あり)を選択してください。

ファイル名、レイヤ名の追加なし(チェック開始)

2)  ファイル名、レイヤ名の追加あり

OK 戻る

- 1) ファイル名、レイヤ名のチェックを行わない場合はチェックして下さい。通常、CAD製図基準(案)に定められている工種以外の工種をチェックする場合選択して下さい。
- 2) 受発注者協議において、CAD製図基準(案)に定められていないファイル名やレイヤ名を使用する場合は、「ファイル名、レイヤ名の追加あり」を選択して下さい。

最後に「OK」をクリックしてください。「ファイル名、レイヤ名の追加なし」を選択すると、チェックが開始されます。「ファイル名、レイヤ名の追加あり」を選択すると次の画面に移ります。

- (d) 図面工種の選択画面で、「ファイル名、レイヤ名の追加あり」を選択すると、「ファイル名、レイヤ名の追加に伴うチェックシステムの設定」画面が表示されます。

**ファイル名、レイヤ名の追加に伴うチェックシステムの設定**

このウィンドウは、CAD製図基準(案)に示されていないファイル名レイヤ名を追加して図面を納品する場合に使用します。

**(1)ファイル名**  
追加したファイル名のチェック方法を指定してください。

入力事項

1)  追加したファイル名を入力しない  
基準(案)に示されていないファイル名の場合【注意】として出力します。

追加したファイル名を入力する  
追加した図面種類を入力してください。

補足説明

CAD製図基準(案)のファイル命名規則は以下の通りです。

○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ 拡張子 i ライフサイクル  
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ii 整理番号  
i ii iii iv v iii 図面種類(半角英大文字2文字)  
iv 図面番号  
v 改訂歴

図面種類は受発注者協議の上、追加することができます。

入力例 AA BB

**(2)レイヤ名**  
追加したレイヤ名のチェック方法を指定してください。

入力事項

2)  追加したレイヤ名のチェックしない  
基準(案)に示されていないレイヤ名の場合【注意】として出力します。

追加したレイヤ名をチェックする  
追加した図面オブジェクト、作図要素を入力してください。

補足説明

CAD製図基準(案)のレイヤ命名規則は以下の通りです。

□ - □ ~ □ - □ ~ □ i 責任主体  
↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ↑ ii 図面オブジェクト(4文字以下)  
i ii iii iii 作図要素(4文字以下)  
【数値区分が必要の場合は5文字以下】

図面オブジェクト、作図要素は受発注者協議の上追加することができます。

入力例 AAAA-BBBB  
CCCC-DDD1

OK 戻る

- 1) 受発注者協議により追加されたファイル名があれば、「追加したファイル名を入力する」を選択して、下のテキストボックスに追加したファイル名を（図面種類：半角英大文字 2 文字）入力して下さい。
- 2) 受発注者協議により追加されたレイヤ名があれば、「追加したレイヤ名を入力する」を選択して、下のテキストボックスに追加したレイヤ名を入力して下さい。
  - 「追加したファイル名（レイヤ名）を入力する」を選択すると、CAD 製図基準(案)に無いファイル名（レイヤ名）かつテキストボックスに記入されていないファイル名（レイヤ名）については【エラー】として出力されます。
  - 「追加したファイル名（レイヤ名）を入力しない」を選択すると、CAD 製図基準(案)に無いファイル名（レイヤ名）については【注意】として出力されます。

最後に「OK」をクリックしてください。チェックが開始されます。

電子成果品が複数枚のメディアにわたっている場合は、メッセージの指示に従って入れ替えを行って下さい。

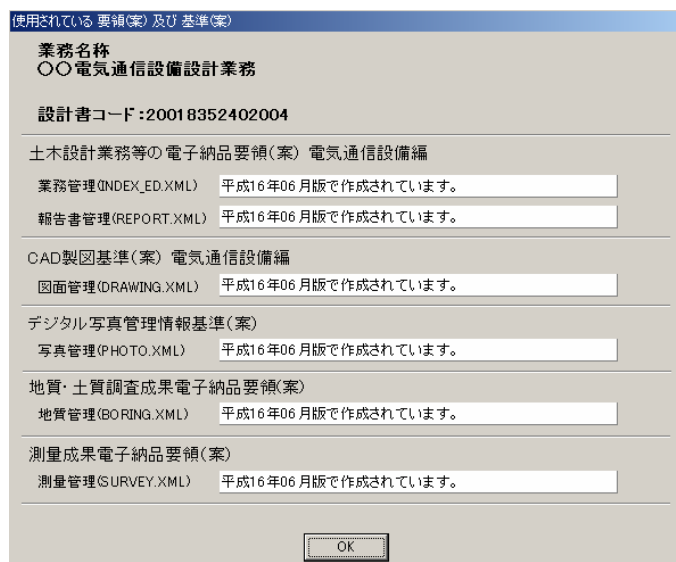
(e) チェックが始まると、次のような画面が表示されます。



「中止」ボタンをクリックすると処理が中断され、「はい (Y)」をクリックするとチェック処理を中止します。「いいえ (N)」をクリックすると、処理が続行されます。



(f) 最後にチェックした電子成果品に適用されている要領/基準(案)および業務名称/工事名称、**設計書コード/工事番号**が表示されます。これらを確認の上、「OK」をクリックするとメッセージは閉じます。



(g) チェックした成果の管理ファイルの有無、ファイル集計、ファイルの有無を表示します。

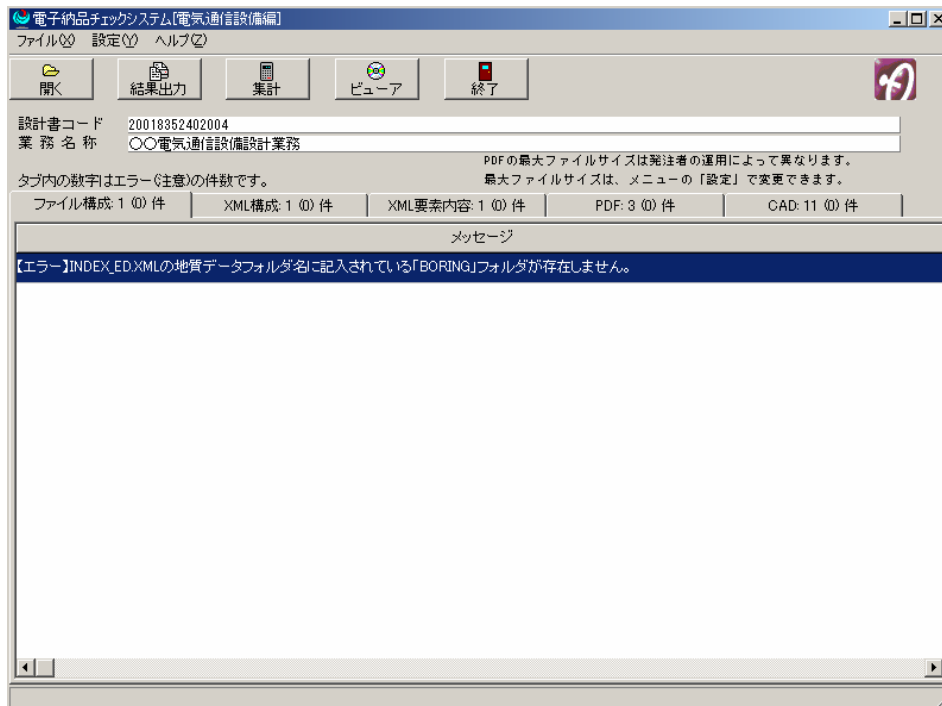
管理ファイル名	有無
報告書管理ファイル(REPORT#REPORT.XML)	<input type="radio"/>
図面管理ファイル(DRAWING#DRAWING.XML)	<input type="radio"/>
写真管理ファイル(PHOTO#PHOTO.XML)	<input type="radio"/>
地質情報管理ファイル(BORING#BORING.XML)	<input type="radio"/>
コア写真管理ファイル(BORING#PIC#COREPIC.XML)	<input type="radio"/>
土質試験結果及び地盤調査管理ファイル(BORING#TEST#GRNDTST.XML)	<input type="radio"/>
その他管理ファイル(BORING#OTHR#OTHRFLS.XML)	<input type="radio"/>
測量管理ファイル(SURVEY#SURVEY.XML)	<input type="radio"/>
測量成果ファイル_基準点(SURVEY#KITEN#SURV_KTN.XML)	<input type="radio"/>
測量成果ファイル_水準(SURVEY#SUIJUN#SURV_S_JN.XML)	<input type="radio"/>
測量成果ファイル_地形(SURVEY#CHIKEN#SURV_CHI.XML)	<input type="radio"/>
測量成果ファイル_路線(SURVEY#ROSEN#SURV_RSN.XML)	<input type="radio"/>
測量成果ファイル_河川(SURVEY#KASEN#SURV_KSN.XML)	<input type="radio"/>
測量成果ファイル_用地(SURVEY#YOUCHI#SURV_YCH.XML)	<input type="radio"/>

以降は、各情報表示画面においてエラーや構成情報を閲覧することができます。

### 3.2.2 メッセージ

#### (1) ファイル構成に関するメッセージ

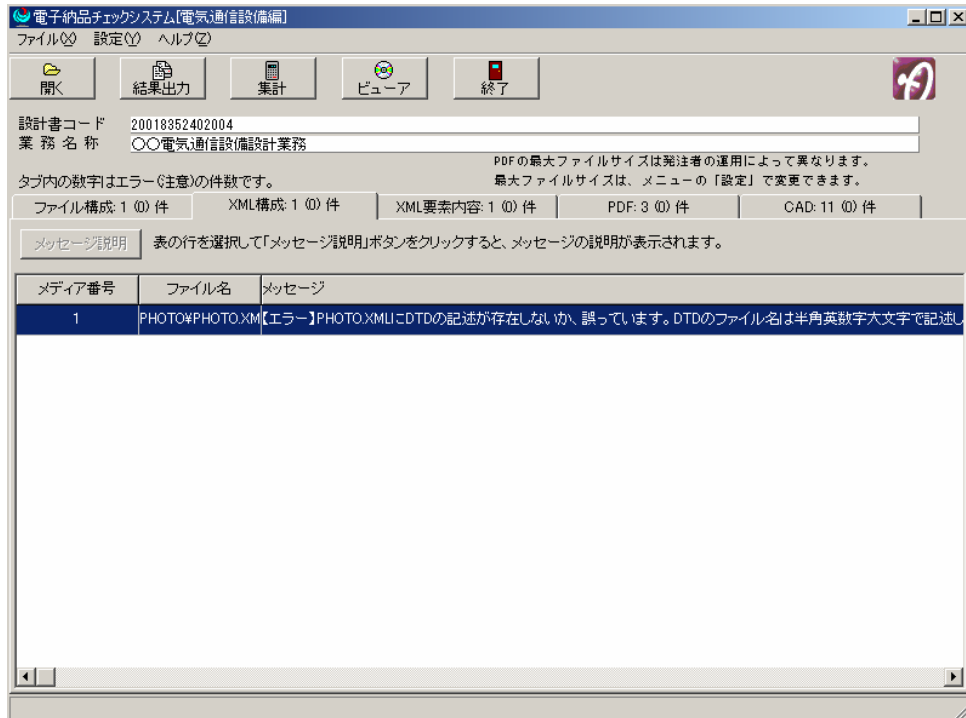
チェックによって検出されたファイル構成エラーを一覧表示します。



ここでは、必要なフォルダ、ファイルの有無などについてのメッセージが表示されます。

## (2) XML 構成に関するメッセージ

チェックによって検出された XML の構成エラーを一覧表示します。



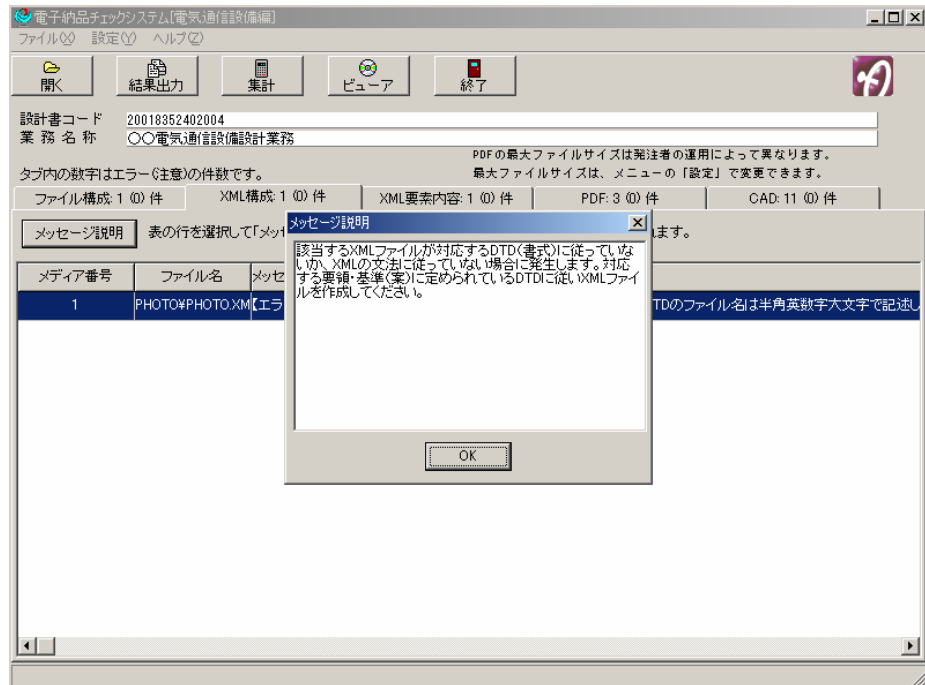
各項目の内容については次のとおりです。

項目名	内容
メディア番号	チェックした XML ファイルが存在するメディアの番号
ファイル名	エラーのあった XML のファイル名
メッセージ	エラーとなった原因を表示

ここでは、電子成果品に格納されている XML ファイルが XML の文法に従っていない箇所や、指定された DTD に従っていない（タグの順番が異なっている、必要なタグが存在しない等）箇所が表示されます。なお、XML の特性上、メッセージの行番号と実際に誤っている箇所が異なっている場合があります。

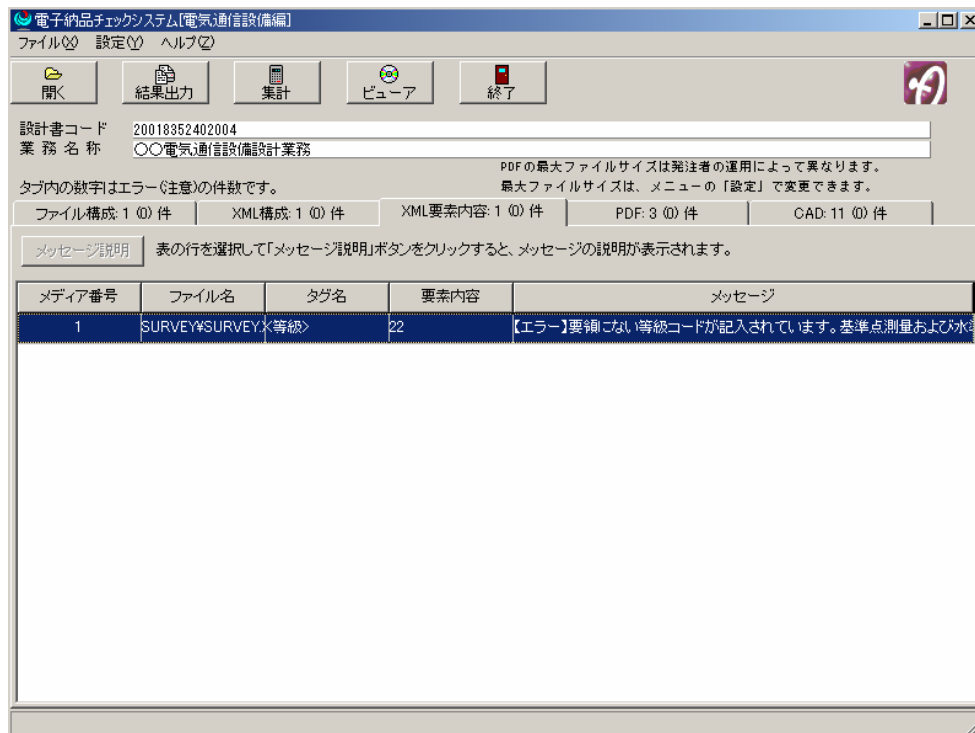
XML 構成エラーが検出された XML ファイルは、次頁の「XML 要素内容」のチェックを行うことができませんのでご注意ください。

また、XML 構成エラーを選択し「メッセージ説明」をクリックすると選択したエラーの対処方法メッセージを表示します。



### (3) XML 要素内容に関するメッセージ

チェックによって検出された XML の要素内容エラーおよび注意の一覧を表示します。



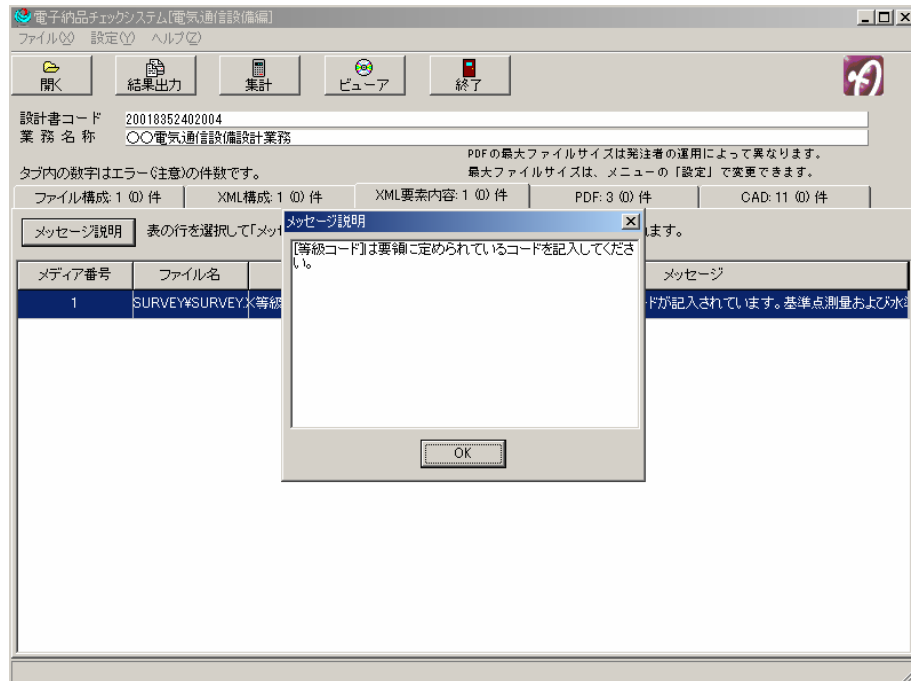
各項目の内容については次のとおりです。

項目名	内容
メディア番号	チェックした XML ファイルが存在するメディアの番号。
ファイル名	XML のファイル名。
タグ名	エラーまたは注意のあったタグ名。
要素内容	エラーまたは注意のあった要素内容。
メッセージ	エラーまたは注意となった原因を表示。

ここでは必須項目の記入もれ、半角カナ等の禁止文字の利用など、管理項目の要素内容の記入の誤りが表示されます。

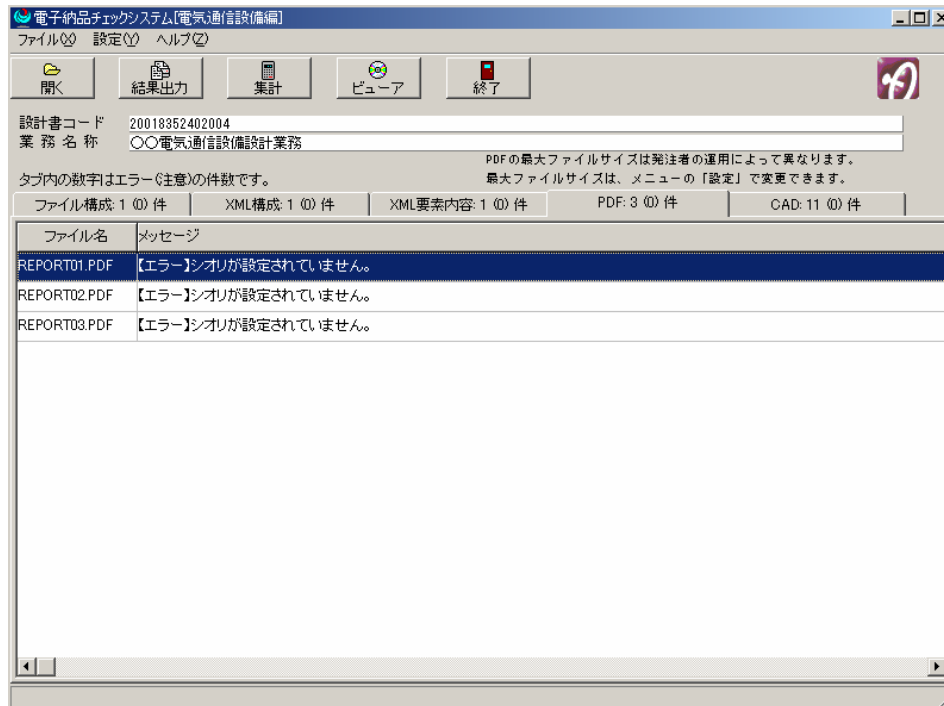


また、XML 要素内容エラーを選択し「メッセージ説明」をクリックすると選択したエラーの対処方法メッセージを表示します。



#### (4) PDF に関するメッセージ

チェックによって検出された PDF エラーおよび注意を一覧表示します（土木設計業務等の成果品のみ）。



各項目の内容については次のとおりです。

項目名	内容
ファイル名	エラーまたは注意の発生した PDF ファイル名を表示
メッセージ	エラーまたは注意の発生した原因を表示

ここでは、PDF ファイルに関する間違いが表示されます。

PDFファイルのファイルサイズのチェックの設定についてはメニューバーの「設定」を選択して下さい。詳細は、「3.5環境設定」を参照してください。

## (5) CADに関するメッセージ

チェックによって検出された、DRAWING (S, F) フォルダに格納されている CAD ファイルのレイヤ名のエラーおよび注意を一覧表示します。

メディア番号	ファイル名	レイヤ名	メッセージ
1	D0EA001Z.P21	D-MTR-TXT	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D0EA001Z.P21	D-MTR-FRAM	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D0EA001Z.P21	D-STR-DIM	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D0EA001Z.P21	画層1	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D1EF001Z.P21	D-MTR-TXT	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D1EF001Z.P21	D-MTR-FRAM	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D1EF001Z.P21	D-STR-DIM	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D0GD001Z.P21	D-MTR-TXT	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D0GD001Z.P21	D-MTR-FRAM	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D0GD001Z.P21	D-STR-DIM	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。
1	D0GD001Z.P21	画層1	【エラー】基準(案)に存在しないレイヤ名です。

各項目の内容については次のとおりです。

項目名	内容
メディア番号	エラーまたは注意の発生したメディア番号
ファイル名	エラーまたは注意の発生したファイル名
レイヤ名	エラーまたは注意の発生したレイヤ名
メッセージ	エラーまたは注意の発生した原因を表示

ここでは、図面ファイルのレイヤ名に関する誤りが表示されます。

本チェックは、CAD ファイルが **SXF (Part21)** 形式 (拡張子: P21) のみ対応しています。

### 3.2.3 結果出力

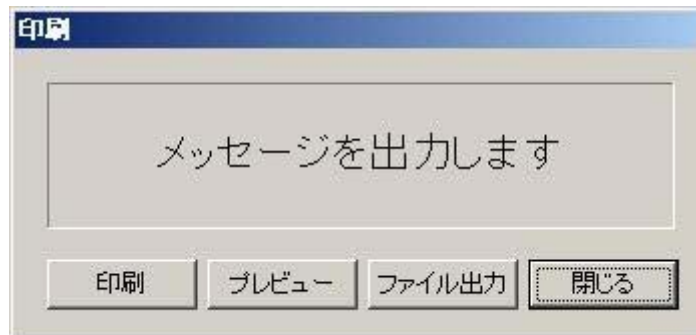
チェックの結果をプレビュー表示、ファイル出力、印刷をすることができます。



ボタンをクリックして下さい。

次の画面が表示されます。

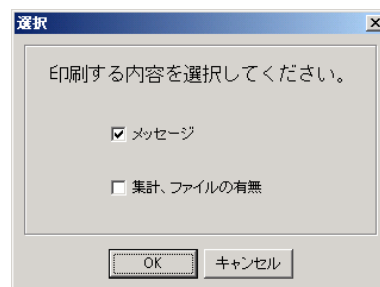
結果の出力方法に該当するボタンをクリックしてください。

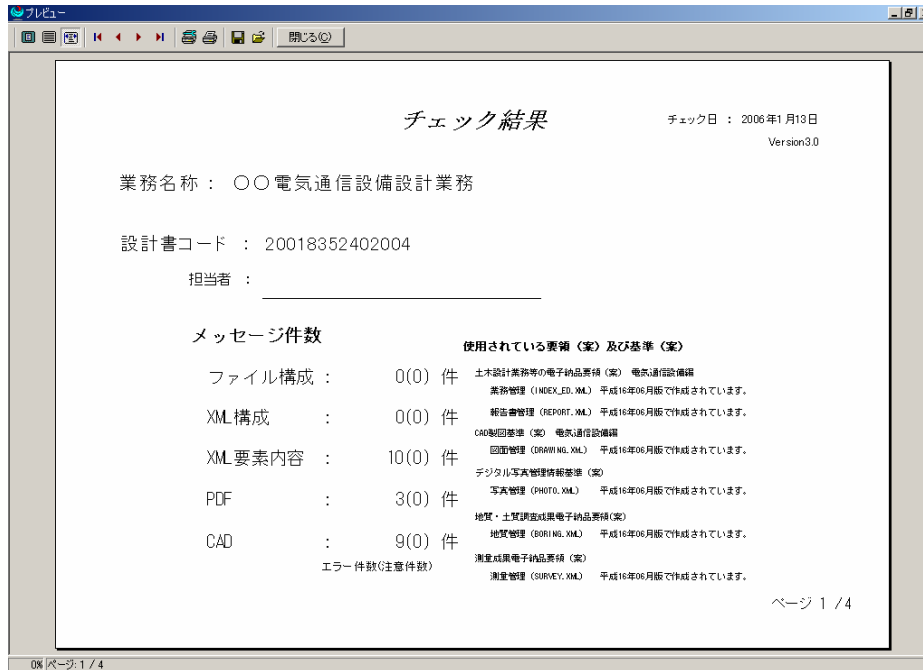


ボタン名	説明
印刷	チェック結果を印刷します
プレビュー	チェック結果をプレビュー表示します
ファイル出力	チェック結果をファイル出力します
閉じる	結果出力を終了します

印刷する内容を選択することができます。

印刷する内容をチェックして<OK>ボタンをクリックしてください。





印刷イメージ (プレビュー)

### 3.3 集計の操作

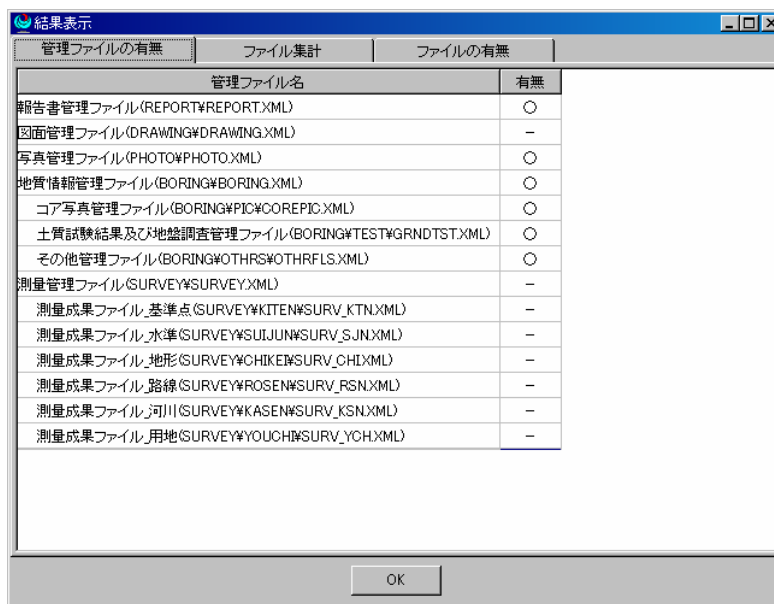
集計ボタンをクリックすると、チェック終了後に表示された結果表示画面が表示されます。

結果表示画面は、管理ファイルの有無、ファイル集計、ファイルの有無のタブで構成されています。

各タブをクリックすると、表示が切り替わります。

#### 3.3.1 管理ファイルの有無

チェックを行った、電子成果品に保存されている管理ファイル（XML ファイル）の有無を表示します。



管理ファイル名	有無
報告書管理ファイル(REPORT#REPORT.XML)	○
図面管理ファイル(DRAWING#DRAWING.XML)	-
写真管理ファイル(PHOTO#PHOTO.XML)	○
地質情報管理ファイル(BORING#BORING.XML)	○
コア写真管理ファイル(BORING#PIC#COREPIC.XML)	○
土質試験結果及び地盤調査管理ファイル(BORING#TEST#GRNDTST.XML)	○
その他管理ファイル(BORING#OTHR#OTHRFLS.XML)	○
測量管理ファイル(SURVEY#SURVEY.XML)	-
測量成果ファイル_基準点(SURVEY#KITEN#SURV_KTN.XML)	-
測量成果ファイル_水準(SURVEY#SUIJUN#SURV_SJN.XML)	-
測量成果ファイル_地形(SURVEY#CHIKEN#SURV_CHI.XML)	-
測量成果ファイル_路線(SURVEY#ROSEN#SURV_RSN.XML)	-
測量成果ファイル_河川(SURVEY#KASEN#SURV_KSN.XML)	-
測量成果ファイル_用地(SURVEY#YOUCHI#SURV_YCH.XML)	-

### 3.3.2 ファイル集計

チェックを行った電子成果品に存在するフォルダ内のファイル数を表示します。  
ファイル数には XML ファイルや DTD ファイルも含まれます。

フォルダ名	ファイル数※
報告書フォルダ(REPORT)	16
報告書オリジナルフォルダ(REPORT/ORG)	9
図面フォルダ(DRAWING)	144
写真フォルダ(PHOTO/PIC)	7
参考図フォルダ(PHOTO/DRA)	6
ボーリング交換用データフォルダ(BORING/DATA)	4
電子柱状図フォルダ(BORING/LOG)	3
電子簡略柱状図フォルダ(BORING/DRA)	3
コア写真フォルダ(BORING/PIC)	7
土質試験及び地盤調査フォルダ(BORING/TEST)	23
その他の地質調査資料フォルダ(BORING/OTHR)	5
基準点測量フォルダ(SURVEY/KITEN)	31
水準測量フォルダ(SURVEY/SUIJUN)	13
地形測量フォルダ(SURVEY/CHIKED)	30
路線測量フォルダ(SURVEY/ROSEN)	9
河川測量フォルダ(SURVEY/KASEN)	23
用地測量フォルダ(SURVEY/NOUCHD)	14

※XMLファイル、DTDファイルを含む


### 3.3.3 ファイルの有無

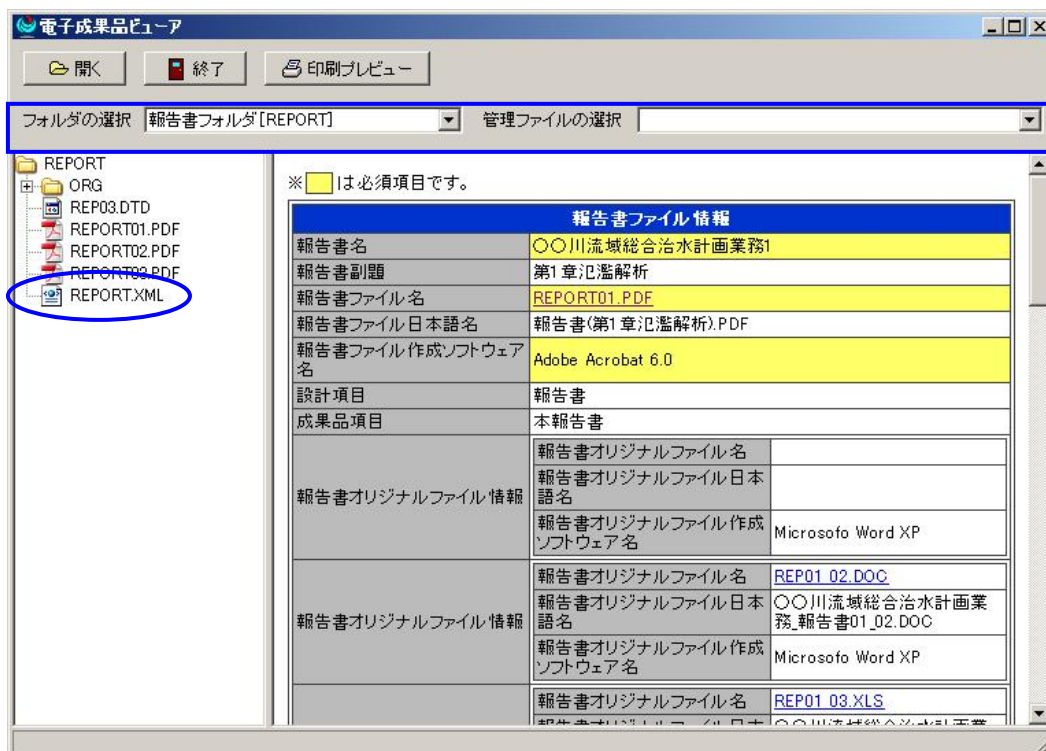
管理ファイル (XML ファイル) に記述されているファイルの有無を、管理ファイル毎に表示します。

メディア番号	ファイル種類	報告書名	報告書副題	ファイル名
1	報告書ファイル	〇〇川流域総合治水計 第1章:①監解析		REPORT01.PDF
1	報告書ファイル	〇〇川流域総合治水計 第2章総合治水計画と総括		REPORT02.PDF
1	報告書ファイル	〇〇川流域総合治水計 第3章その他		REPORT03.PDF
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第1章:①監解析		REP01_01.DOC
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第1章:①監解析		REP01_02.DOC
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第1章:①監解析		REP01_03.XLS
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第2章総合治水計画と総括		REP02_01.DOC
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第2章総合治水計画と総括		REP02_02.DOC
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第2章総合治水計画と総括		REP02_03.XLS
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第3章その他		REP03_01.DOC
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第3章その他		REP03_02.DOC
1	報告書オリジナルファイル	〇〇川流域総合治水計 第3章その他		REP03_03.XLS

### 3.4 電子成果品ビューアの操作

電子成果品ビューアは、電子成果品を簡易的に閲覧する機能です。

検索結果画面の「ビューア」ボタン  を押すと、電子成果品ビューアが起動します。



電子成果品ビューアを起動すると画面左側にチェックを行った電子成果品に格納されているフォルダやファイルが表示されます。

表示フォルダを変更する場合は、「フォルダの選択」からフォルダを選択してください。表示するファイルをクリックするとファイルの内容を表示します。

管理ファイルの表示の場合は、「管理ファイルの選択」から直接選択することで表示を行います。

「開く」ボタンを押すとファイル選択ダイアログが表示されますので、チェックを行ったものとは異なるメディアの成果品に変更できます。

「閉じる」ボタンで電子成果品ビューアを終了します。

ビューア表示が可能なファイルは拡張子が以下のものです。

形式	拡張子	内容
XML	xxxxxxx.XML	各管理ファイルの形式。

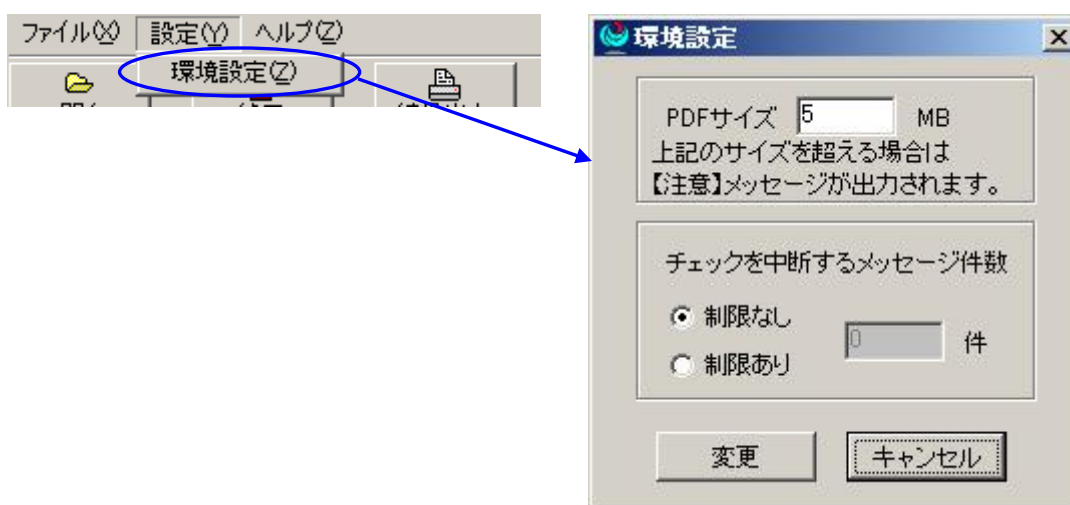
※ 上記拡張子以外のファイル閲覧はご利用のパソコンにインストールされているソフトにより異なります。



### 3.5 環境設定

メニューバーの「設定/環境設定」では、電子納品チェックシステムでチェックされるPDFファイルの上限ファイルサイズを変更できます。サイズは受発注者協議の上決定してください。

また、チェックを中断するメッセージ件数の「制限あり」を選択して、件数を入力すると、チェック処理中にエラー件数が設定数に達した時点でチェック処理を中断します。



チェック処理が中断された場合、次のようなメッセージが表示されます。

メッセージ画面で「はい (Y)」をクリックとチェック処理は中断され、その時点までのチェック結果を表示します。「いいえ (N)」をクリックと、そのままチェック処理は続行されます。



メニューバーの「ヘルプ/バージョン情報」では、電子納品チェックシステムのバージョンおよび電子納品チェックシステムで対応している電子納品に関わる要領/基準(案)を表示します。

## 4 メッセージ対応表

### 4.1 ファイル構成に関するメッセージ

No	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	INDEX_C.XML または INDEX_D.XML がありません。	INDEX_C.XML、INDEX_D.XML ファイルがない、またはファイル名が間違っている可能性がある。ファイルの有無、ファイル名称の確認、修正してください。
2	{フォルダ名} がありません。	要領（案）のフォルダ構成にしたがっていない可能性があります。データがない場合でもルート直下のフォルダは作成する必要があります。（業務の成果に「BORING」フォルダ、「SURVEY」フォルダがない場合が多い）
3	{XML ファイル名}.XML がありません。	{XML ファイル名} ファイルがない、ファイル名が間違っている可能性があります。ファイルの有無、ファイル名称の確認を行い修正してください。
4	{DTD ファイル名} が正しくありません。	同フォルダ内に DTD ファイルがない、また、XML ファイルに記述されているの DTD のファイル名が誤っている可能性があります。ファイル名は必ず半角大文字で記入してください。
5	{XML ファイル名} の encoding が Shift_JIS 以外に設定されています。	XML ファイルの作成にあたっては、Shift_JIS で保存してください。
6	{CAD ファイル名}.P21 のチェックに失敗しました。	CAD ファイル（P21 形式）のファイルが正常に保存されていません。CAD ファイルの作成（変換）を再度おこなってください。

## 4.2 XML 構成に関するメッセージ

No	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	XML パーサが出力するメッセージ※	XML ファイルの構成が対応する DTD にしたがっていない場合に、メッセージが出力されます。 <u>タグの名称、順番、繰り返し回数等の確認を行い、DTD にしたがっているかを確認してください。</u>

※XML 構成に関するエラーは、XML ファイルの根本的なエラーです。本エラーが発生すると、チェックシステムは XML ファイルと認識できないため、次の要素内容に関するチェックを行うことができません。

### 4.3 要素内容に関するメッセージ

#### (4) 共通メッセージ

No	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	半角英数字以外の文字' {違反文字}' が使用されています。	半角英数字以外の文字が使用されているため、半角英数字に修正してください。
2	半角英数大文字以外の文字' {違反文字}' が使用されています。	ファイル名、フォルダ名等については、半角英数大文字で記入してください。
3	半角数字以外の文字' {違反文字}' が使用されています。	全角数字等が使用されているため、半角数字で記入してください。
4	全角文字半角英数字以外の文字' {違反文字}' が使用されています。	「①」等の使用禁止文字が使用されています。「(1)」等に置き換えて記入してください。
5	記述内容が' {長さ}' 文字を超えています。	決められたデータ長を超えているため、文字数を減らしてください。
6	' {規定文字数}' 文字でなければいけません。	' {規定文字数}' 文字で記入してください。
7	内容が記述されていません。	必須記入項目についてはデータ要素内容を記入してください。

(5) INDEX\_ED.XML (業務管理ファイル：DTD バージョン 3\*)

※土木設計業務等の電子納品要領 (案) 電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
1	報告書フォルダ名	フォルダ名は「REPORT」でなければいけません。	フォルダ名は REPORT です。「REPORT」と記入してください。
2	報告書オリジナルファイルフォルダ名	フォルダ名は「REPORT/ORG」でなければいけません。	フォルダ名は REPORT/ORG です。「REPORT/ORG」と記入してください。
3	図面フォルダ名	フォルダ名は「DRAWING」でなければいけません。	フォルダ名は DRAWING です。「DRAWING」と記入してください。
4	写真フォルダ名	フォルダ名は「PHOTO」でなければいけません。	フォルダ名は PHOTO です。「PHOTO」と記入してください。
5	測量データフォルダ名	フォルダ名は「SURVEY」でなければいけません。	フォルダ名は SURVEY です。「SURVEY」と記入してください。
6	地質データフォルダ名	フォルダ名は「BORING」でなければいけません。	フォルダ名は BORING です。「BORING」と記入してください。
7	住所コード	記入されている内容は TECRIS の住所コードの中にありません。	TECRIS のコード表、キーワード集より選択し記入する項目です。TECRIS のコード表、キーワード集を確認の上、記入してください。
8	対象水系路線コード	記入されている内容は TECRIS の水系路線等コードの中にありません。	TECRIS のコード表、キーワード集より選択し記入する項目です。TECRIS のコード表、キーワード集を確認の上、記入してください。
9	発注者機関コード	記入されている内容は TECRIS の発注者機関コードの中にありません。	TECRIS のコード表、キーワード集より選択し記入する項目です。TECRIS のコード表、キーワード集を確認の上、記入してください。
10	業務分野コード 業務キーワード	TECRIS キーワードの中に無い用語が記入されています。	TECRIS のコード表、キーワード集より選択し記入する項目です。TECRIS のコード表、キーワード集を確認の上、記入してください。
11	履行期間-着手 履行期間-完了	CCYY-MM-DD の書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2004 年 5 月 31 日の場合「2004-05-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
12	受注者コード	受注者コードが記入されていないか誤っています。受注者コードを持たない場合は「0」を記入してください。	TECRIS に登録されていない場合は [受注者コード] に「0」を記入してください。
13	メディア番号	メディア番号が記入されていません。	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
14	メディア番号	メディア番号で半角数字以外の文字が使用されています。	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。
15	メディア番号	メディア番号が正しくありません。	1 から連番で記入してください。
16	メディア総枚数	メディア総枚数が記入されていません	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。
17	メディア総枚数	メディア総枚数で半角数字以外の文字が使用されています。	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。
18	メディア総枚数	メディア総枚数が正しくありません。	正しい総枚数を記入してください。
19	主な業務の内容	[主な業務の内容]は、「1」から「4」の数字でなければいけません。	[主な業務の内容]には「1」から「4」までのいずれかを記入してください。(1. 調査設計、2. 地質調査、3. 測量、4. その他)
20	業務実績システム登録番号	登録番号が記入されていません。登録番号を持たない場合は「0」を記入してください。	TECRIS に登録されている場合は、10桁の登録番号を記入して下さい。TECRIS 以外の番号の場合は、11桁以内の番号を記入して下さい。登録番号を持たない場合は、0 を記入して下さい。
21	起点側測点-n 起点側測点-m 終点側測点-n 終点側測点-m 起点側距離標-n 起点側距離標-m 終点側距離標-n 終点側距離標-m	【注意】正の整数値型で記入されていません。	[側点]や[距離標]などは正の整数値として値を記入してください。
22	測地系	[測地系]は「00」または「01」の数字でなければいけません。	日本測地系の場合は「00」、世界測地系の場合は「01」と記入してください。
23	現道-旧道区分	[現道-旧道区分]は「0」から「3」の数字でなければいけません。	「現道-旧道区分」には0から3までのいずれかを記入してください。(0. 未調査、1. 現道、2. 旧道、3. 新道)
24	対象河川コード	河川コードが正しくありません。	「河川コード仕様書(案)」に記入されている河川コードを確認の上、記入してください。
25	左右岸上下線コード	[左右岸上下線コード]は、「00」、「01」、「02」、「03」、「10」、「20」、「30」、「99」の数字のいずれかでなければいけません。	河川の場合は(00:不明、01:左岸、02:右岸、03:中洲、99:その他)から選択して、記入して下さい。道路の場合は(00:不明、10:上り線 20:下り線、30:上下線共通、99:その他)から選択して、記入して下さい。

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
26	左右岸上下線コード	[左右岸上下線コード]の内容が記入されていません。	対象河川コードが記入されている場合は必ず記入してください。
27	履行期間-終了	履行期間-着手より前の日付が記入されています。	日付を確認の上、履行期間-着手より後の日付を記入してください。
28	適用要領基準	本要領の適用においては「電通 200406-01」でなければいけません。	本要領の適応する場合は、電通 200406-01 で固定です。「電通 200406-01」と記入してください。
29	西側境界座標経度 東側境界座標経度 北側境界座標緯度 南側境界座標緯度	境界座標情報に誤りがあります。経度の場合は度を-180～180、緯度の場合は度を-090～090、分と秒は 00～59 で記入してください。	例えば、東経 153° 3' 12" であれば、1530312 の様に記入して下さい。西経、南緯の場合は-を先頭につけて下さい。該当が無い場合は、「99999999」を記入して下さい。
30	西側境界座標経度 東側境界座標経度 北側境界座標緯度 南側境界座標緯度	【注意】経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。	緯度、経度を日本の範囲を超えています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55' 59" ～ 153° 59' 12" 北緯：20° 25' 14" ～ 45° 33' 19"。
31	東側境界座標経度	東側境界座標に西側境界座標より小さな値が記入されています。	西側と東側の座標を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。
32	南側境界座標緯度	北側境界座標に南側境界座標より小さな値が記入されています。	南側と北側の座標を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。

## (6) REPORT.XML (報告書管理ファイル : DTD バージョン 3\*)

※土木設計業務等の電子納品要領 (案) 電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	報告書ファイル名 報告書オリジナルファイル名	ファイル名が命名規則に合っていないです。	[報告書ファイル名]または[報告書オリジナルファイル名]に記入されているファイル名が、要領(案)の命名規則に従っていません。要領(案)の命名規則を確認して記入してください。
2	報告書ファイル名 報告書オリジナルファイル名	REPORT.XML に同じファイル名が記入されています。	[報告書ファイル名]または[報告書オリジナルファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
3	報告書ファイル名	REPORT.XML に記入されているファイルが REPORT フォルダに存在しません。	[報告書ファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルが REPORT フォルダ内に格納されていません。実ファイルを確認の上、XML に記入してください。
4	報告書オリジナルファイル名	REPORT.XML に記入されているファイルが REPORT/ORG フォルダに存在しません。	[報告書オリジナルファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルが REPORT/ORG フォルダ内に格納されていません。実ファイルを確認の上、XML に記入してください。
5	報告書オリジナルファイル名	報告書ファイル名 (REPORTnn. PDF) の nn と報告書オリジナルファイル名 (REPnn_mm. XXX) の nn が一致していません。	報告書オリジナルファイル名 (REPnn_mm. XXX) に対応する報告書ファイル名 (REPORTnn. PDF) の nn を記入してください。



(7) INDEX\_EC.XML (工事管理ファイル：DTD バージョン 3\*)

※工事完成図書の電子納品要領 (案) 電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
1	発注図フォルダ名	「DRAWINGS」でなければいけません。	フォルダ名はDRAWINGSです。「DRAWINGS」と記述してください。
2	特記仕様書オリジナルファイルフォルダ名	フォルダ名は「DRAWINGS/SPEC」でなければいけません。	フォルダ名はDRAWINGS/SPECです。「DRAWINGS/SPEC」と記述してください。
3	打合せ簿フォルダ名	フォルダ名は「MEET」でなければいけません。	フォルダ名はMEETです。「MEET」と記述してください。
4	打合せ簿オリジナルファイルフォルダ名	フォルダ名は「MEET/ORG」でなければいけません。	フォルダ名はMEET/ORGです。「MEET/ORG」と記述してください。
5	施工計画書フォルダ名	フォルダ名は「PLAN」でなければいけません。	フォルダ名はPLANです。「PLAN」と記述してください。
6	施工計画書オリジナルファイルフォルダ名	フォルダ名は「PLAN/ORG」でなければいけません。	フォルダ名はPLAN/ORGです。「PLAN/ORG」と記述してください。
7	完成図フォルダ名	フォルダ名は「DRAWINGF」でなければいけません。	フォルダ名はDRAWINGFです。「DRAWINGF」と記述してください。
8	写真フォルダ名	フォルダ名は「PHOTO」でなければいけません。	フォルダ名はPHOTOです。「PHOTO」と記述してください。
9	その他フォルダ名	フォルダ名は「OTHRs」でなければいけません。	フォルダ名はOTHRsです。「OTHRs」と記述してください。
10	工事分野	記入されている内容はCORINSの[工事分野]にありません。	CORINSのコードやキーワードから選択して記入する項目です。CORINS入力システムのマニュアル等を確認の上、記入してください。特に[工種]、[工法形式]の誤りが多くなっていますのでご注意ください。【記入例】[工種]トンネル工事、[工法形式]開放型シールドトンネル
11	工事業種	記入されている内容はCORINSの[工事業種]にありません。	CORINSのコードやキーワードから選択して記入する項目です。CORINS入力システムのマニュアル等を確認の上、記入してください。特に[工種]、[工法形式]の誤りが多くなっていますのでご注意ください。【記入例】[工種]トンネル工事、[工法形式]開放型シールドトンネル

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
12	工種	記入されている内容はCORINSの[工種]にありません。	CORINSのコードやキーワードから選択して記入する項目です。CORINS入力システムのマニュアル等を確認の上、記入してください。特に[工種]、[工法形式]の誤りが多くなっていますのでご注意ください。【記入例】[工種]トンネル工事、[工法形式]開放型シールドトンネル
13	工法型式	記入されている内容はCORINSの[工法型式]にありません。	CORINSのコードやキーワードから選択して記入する項目です。CORINS入力システムのマニュアル等を確認の上、記入してください。特に[工種]、[工法形式]の誤りが多くなっていますのでご注意ください。【記入例】[工種]トンネル工事、[工法形式]開放型シールドトンネル
14	住所コード	記入されている内容はCORINSの[住所コード]にありません。	CORINSのコードやキーワードから選択して記入する項目です。CORINS入力システムのマニュアル等を確認の上、記入してください。
15	発注者コード	記入されている内容は、[工事実績システムバージョン番号]に対応するCORINSの発注者機関コードの中に存在しません。	CORINSのコードやキーワードから選択して記入する項目です。CORINS入力システムのマニュアル等を確認の上、記入してください。
16	工期開始日 工期終了日	CCYY-MM-DDの書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば2004年5月31日の場合「2004-05-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
17	メディア番号	メディア番号が記入されていません。	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。
18	メディア番号	メディア番号で半角数字以外の文字が使用されています。	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。
19	メディア番号	メディア番号が正しくありません。	1から連番で記入してください。
20	メディア総枚数	メディア総枚数が記入されていません。	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。
21	メディア総枚数	メディア総枚数で半角数字以外の文字が使用されています。	[メディア番号]、[メディア総枚数]には、必ず数値を半角で記入してください。
22	メディア総枚数	メディア総枚数が正しくありません。	正しい総枚数を記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
23	起点側測点-n 起点側測点-m 終点側測点-n 終点側測点-m 起点側距離標-n 起点側距離標-m 終点側距離標-n 終点側距離標-m	【注意】整数値型で記入されていません。	[側点]や[距離標]などは正の整数値として値を記入してください。
24	その他オリジナルファイルフォルダ名	フォルダの命名規則に合っていないです。	その他オリジナルファイルフォルダ名は「OTHERS/ORGnnn」の形式で記入してください。nnn は、001 からの連番です。
25	測地系	[測地系]は「00」か「01」の数字でなければいけません。	日本測地系の場合は「00」、世界測地系の場合は「01」と記入してください。
26	現道-旧道区分	[現道-旧道区分]は「0」から「3」の数字でなければいけません。	「現道-旧道区分」には「0」から「3」までのいずれかを記入してください。(0. 未調査、1. 現道、2. 旧道、3. 新道)
27	対象河川コード	河川コードが正しく記入されていません。	「河川コード仕様書(案)」に記述されている河川コードを確認の上、記入してください。
28	左右岸上下線コード	[左右岸上下線コード]は「00」、「01」、「02」、「03」、「10」、「20」、「30」、「99」のいずれかでなければいけません。	河川の場合は(00:不明、01:左岸、02:右岸、03:中洲、99:その他)から選択して、記入して下さい。道路の場合は(00:不明、10:上り線 20:下り線、30:上下線共通、99:その他)から選択して、記入して下さい。
29	左右岸上下線コード	[左右岸上下線コード]の内容が記入されていません。	対象河川コードが記入されている場合は必ず記入してください。
30	工期終了日	[工期開始日]より前の日付が記入されています。	日付を確認の上、[工期開始日]より後の日付を記入してください。
31	適用要領基準	本要領の適用においては「電通 200406-01」でなければいけません。	本要領の適応する場合は、電通 200406-01 で固定です。「電通 200406-01」と記述してください。
32	西側境界座標経度 東側境界座標経度 北側境界座標緯度 南側境界座標緯度	境界座標情報に誤りがあります。経度の場合は度を-180～180、緯度の場合は度を-090～090、分と秒は00～59で記入してください。	整数値で記入して下さい。例えば、東経 153° 3' 12" であれば、1530312 の様に記入して下さい。西経、南緯の場合は-を先頭につけて下さい。該当が無い場合は、「99999999」を記入して下さい。
33	設備図書フォルダ名	「FACILITY」でなければいけません。	フォルダ名は FACILITY です。「FACILITY」と記述してください。
34	設備図書オリジナルファイルフォルダ名	「FACILITY/ORG」でなければいけません。	フォルダ名は FACILITY/ORG です。「FACILITY/ORG」と記述してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
35	発注年度	発注年度が正しくありません。	発注年度は西暦で記入してください。
36	西側境界座標経度 東側境界座標経度 北側境界座標緯度 南側境界座標緯度	【注意】経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。	緯度、経度を日本の範囲を超えています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55' 59" ～ 153° 59' 12" 北緯：20° 25' 14" ～ 45° 33' 19"。
37	東側境界座標経度	東側境界座標に西側境界座標より小さな値が記入されています。	西側と東側の座標を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。
38	南側境界座標緯度	北側境界座標に南側境界座標より小さな値が記入されています。	南側と北側の座標を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。
39	工事实績システムバージョン番号	工期開始日が2005年10月1日以降の場合、工事实績システムバージョン番号は、「6.0」を記入してください。	工期開始日が2005年10月1日以降の場合、工事实績システムバージョン番号は、「6.0」を記入してください。

## (8) MEET.XML (打合せ簿管理ファイル : DTD バージョン 3\*)

※工事完成図書の電子納品要領 (案) 電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	打合せ簿種類	「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」以外の用語が記入されています。	[打合せ簿種類]には、必ず「指示」「承諾」「協議」「提出」「提示」「報告」「通知」のいずれかの用語を記入してください。
2	提出先	「発注者」「請負者」以外の用語が記入されています。	[提出先]には、必ず「発注者」「請負者」のいずれかの用語を記入してください。
3	打合せ簿オリジナルファイル名	ファイル名が命名規則に合っていないです。	[打合せ簿オリジナルファイル名]に記入されているファイル名が、要領(案)の命名規則に従っていません。要領(案)の命名規則を確認して記入してください。
4	打合せ簿オリジナルファイル名	MEET.XML に同じファイル名が記入されています。	[打合せ簿オリジナルファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
5	打合せ簿オリジナルファイル名	MEET.XML に記入されているファイルが MEET/ORG フォルダに存在しません。	[打合せ簿オリジナルファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルが MEET/ORG フォルダ内に格納されていません。実ファイルの名称を確認の上、XML に記入してください。
6	打合せ簿情報/シリアル番号	[シリアル番号]が重複しています。	[シリアル番号]に数値が重複して記入されています。番号は重複しないように記入してください。
7	発行日付 受理日付 完了日付	CCYY-MM-DD の書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2004 年 5 月 31 日の場合「2004-05-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
8	シリアル番号	[シリアル番号]は先頭文字に 0 を付けてはいけません。	[シリアル番号]の数値の先頭に「0」をつけないでください。
9	図面ファイル名	発注図面管理ファイル (DRAWINGS.XML) または完成図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) の [図面ファイル名] にない図面ファイル名が記入されています。	発注図面管理ファイル (DRAWINGS.XML) または完成図面管理ファイル (DRAWINGF.XML) の [図面ファイル名] を確認の上、記入してください。
10	関連資料/シリアル番号	写真管理ファイル (PHOTO.XML) の [シリアル番号] にない番号が記入されています。	写真管理ファイル (PHOTO.XML) の [シリアル番号] を確認の上、記入してください。

### (9) PLAN.XML (施工計画書管理ファイル：DTDバージョン3\*)

※工事完成図書の電子納品要領（案）電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	施工計画書オリジナルファイル名	ファイル名が命名規則に合っていないです。	[施工計画書オリジナルファイル名]に記入されているファイル名が、要領(案)の命名規則に従っていません。要領(案)の命名規則を確認して記入してください。
2	施工計画書オリジナルファイル名	PLAN.XMLに同じファイル名が記入されています。	[施工計画書オリジナルファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
3	施工計画書オリジナルファイル名	PLAN.XMLに記入されているファイルがPLAN/ORGフォルダに存在しません。	[施工計画書オリジナルファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルがPLAN/ORGフォルダ内に格納されていません。実ファイルを確認の上、XMLに記入してください。
4	シリアル番号	[シリアル番号]が重複しています。	[シリアル番号]に数値が重複して記入されています。番号は重複しないように記入してください。
5	シリアル番号	[シリアル番号]は先頭文字に0を付けてはいけません。	[シリアル番号]の数値の先頭に「0」をつけないでください。

### (10) OTHERS.XML (その他管理ファイル : DTD バージョン 3\*)

※工事完成図書の電子納品要領 (案) 電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	その他サブフォルダ名	フォルダ名が ORGnnn 形式ではありません。	[その他オリジナルファイルフォルダ名]は「OTHERS/ORGnnn」の形式で記入してください。nnn は、「001」からの連番です。
2	その他サブフォルダ名	INDEX_EC.XML で記入されていないフォルダ名です。	INDEX_EC.XML に記入されたフォルダ名を記入してください。
3	オリジナルファイル名	OTHERS.XML に同じファイル名が記入されています。	[オリジナルファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
4	オリジナルファイル名	OTHERS.XML に記入されているファイルが OTHERS/ORGnnn フォルダに存在しません。	[オリジナルファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルが OTHERS/ORGnnn フォルダ内に格納されていません。実ファイルを確認の上、XML に記入してください。
5	シリアル番号	[シリアル番号]番号が重複しています。	[シリアル番号]に数値が重複して記入されています。番号は重複しないように記入してください。
6	シリアル番号	[シリアル番号]先頭文字に 0 を付けてはいけません。	[シリアル番号]の数値の先頭に「0」をつけないでください。
7	オリジナルファイル名	オリジナルファイル名が 8.3 形式で記入されていないか、半角英数字大文字以外の文字が記入されています。	ファイル名 8 文字以内、拡張子は 3 文字以内の半角英数大文字で記入してください。
8	その他サブフォルダ名	OTHERS.XML に同じフォルダ名が記入されています。	[その他サブフォルダ名]にフォルダ名が重複して記入されています。フォルダ名は重複しないように記入してください。

## (11) PHOTO.XML (写真管理ファイル : DTD バージョン 4※)

※デジタル写真管理情報基準 (案) H18.1

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	写真フォルダ名	フォルダ名はPHOTO/PICでなければいけません。	フォルダ名はPHOTO/PICです。「PHOTO/PIC」と記入してください。
2	参考図フォルダ名	フォルダ名はPHOTO/DRAでなければいけません。	フォルダ名はPHOTO/DRAです。「PHOTO/DRA」と記入してください。
3	写真区分	[写真区分]は、内容が記入されていないか、「着事前及び完成写真」「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他」以外の用語が記入されています。	[写真区分]に「着事前及び完成写真」「施工状況写真」「安全管理写真」「使用材料写真」「品質管理写真」「出来形管理写真」「災害写真」「その他」以外の用語が記入されています。8つの用語の中から選択して記入してください。
4	適用要領基準	[適用要領基準]は、平成18年1月版の適用においては「電通200601-01」を記入しなければなりません。	電気通信設備の場合は、電通200601-01で固定です。「電通200601-01」と記入してください。
5	写真ファイル名 参考図ファイル名	ファイル名が命名規則に合っておりません。	[写真ファイル名]または[参考図ファイル名]にファイル名が、要領(案)の命名規則に従っていません。要領(案)の命名規則を確認して記入してください。
6	写真ファイル名	PHOTO.XMLに同じファイル名が記入されています。	[写真ファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
7	写真ファイル名	PHOTO.XMLに記入されているファイルがPHOTO/PICフォルダに存在しません。	[写真ファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルがPHOTO/PICフォルダ内に格納されていません。実ファイルの名称を確認の上、XMLに記入してください。
8	参考図ファイル名	PHOTO.XMLに記入されているファイルがPHOTO/DRAフォルダに存在しません。	[参考図ファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルがPHOTO/DRAフォルダ内に格納されていません。実ファイルの名称を確認の上、XMLに記入してください。
9	シリアル番号	[シリアル番号]が重複しています。	[シリアル番号]に数値が重複して記入されています。番号は重複しないように記入してください。
10	シリアル番号	[シリアル番号]は先頭文字に0を付けてはいけません。	[シリアル番号]の数値の先頭に「0」をつけないでください。



No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
11	撮影年月日	CCYY-MM-DD の書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2004 年 5 月 31 日の場合「2004-05-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
12	写真-大分類	[写真-大分類]に「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」以外の用語が記入されています。	「工事」「測量」「調査」「地質」「広報」「設計」「その他」以外の用語が記入されています。7つの用語の中から選択して記入してください。
13	代表写真	[代表写真]に、「1」以外が記入されています。	工事全体概要や当該工事で重要となる代表写真の場合、「1」を記入してください。
14	工種	写真区分が「品質管理写真」「出来形管理写真」の場合は[工種]を記入しなければいけません。	写真区分が「品質管理写真」「出来形管理写真」の場合は[工種][種別][細別]を必ず記入してください。
15	種別	写真区分が「出来形管理写真」の場合は[種別]を記入しなければいけません。	写真区分が「出来形管理写真」の場合は[工種][種別][細別]を必ず記入してください。
16	細別	写真区分が「出来形管理写真」の場合は[細別]を記入しなければいけません。	写真区分が「出来形管理写真」の場合は[工種][種別][細別]を必ず記入してください。

PHOTO.XML (写真管理ファイル: DTD バージョン 3\*) の場合に出力されるメッセージ

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
11	撮影年月日	CCYY-MM-DD の書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2004 年 5 月 31 日の場合「2004-05-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
		【注意】平成 18 年 1 月以降に納品する電子成果品については、必ず記入する必要があります。また、平成 19 年 4 月以降に納品する電子成果品については、写真フォルダに PHOTO03. DTD ではなく PHOTO04. DTD を格納してください。	平成 18 年 1 月にデジタル写真管理情報基準(案)が改訂され[撮影年月日]の記入が必須となりました。これにともない、平成 18 年 1 月以降に納品された電子成果品については、[撮影年月日]を必ず記入してください。また、平成 19 年 4 月に PHOTO04. DTD が公開されました。これにともない、平成 19 年 4 月以降に納品された電子成果品については、PHOTO04. DTD を必ず格納してください。

(12) DRAWING.XML (図面管理ファイル：DTD バージョン 3\*)

※CAD 製図基準 (案) 電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
1	図面ファイル名	【注意】ファイル名が命名規則に合っていません。但し、受発注者協議で決定したものであれば、問題ありません。	[図面ファイル名]に記入されているファイル名が基準(案)の命名規則に従っていません。基準(案)の命名規則を確認して記入してください。但し、受発注者協議により決定したファイル名であれば、問題ありません。
2	追加サブフォルダ名称	図面管理ファイル(XML ファイル)に同じサブフォルダ名が記入されています。	[追加サブフォルダ名]にフォルダ名が重複して記入されています。フォルダ名は重複しないように記入してください。
3	図面ファイル名	図面管理ファイル(XML ファイル)に記入されている図面ファイルが存在しません。	[図面ファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルが存在しません。土木設計業務の場合は[DRAWING]フォルダに、工事完成図書の場合は、発注図面であれば[DRAWINGS]、完成図面であれば[DRAWINGF]フォルダに実ファイルの有無を確認の上、XML ファイルに記入してください。
4	追加サブフォルダ名称	図面管理ファイル(XML ファイル)に記入されているサブフォルダが存在しません。	[追加サブフォルダ名称]に記入されているフォルダ名の実フォルダが存在しません。土木設計業務の場合は[DRAWING]フォルダに、工事完成図書の場合は、発注図面であれば[DRAWINGS]、完成図面であれば[DRAWINGF]フォルダに実フォルダの有無を確認の上、XML ファイルに記入してください。
5	図面ファイル名	【注意】CAD ファイルのファイル形式が「P21」でないため、レイヤチェックを行いません。	図面ファイルが、P21 形式でないレイヤのチェックは行えません。
7	基準点情報緯度	[基準点情報]の内容が記入されていません。「位置図」「平面図」「一般図」の場合は、必ず[基準点情報緯度・経度]または[基準点情報平面直角座標系番号、X 座標、Y 座標]を記入してください。	「位置図」、「平面図」、「一般図」(図面ファイル名 [図面種類：LC、PL、GV]で識別します)の場合は、必ず[基準点情報緯度・経度]または[基準点情報平面直角座標系番号、X 座標、Y 座標]を記入してください。
8	基準点情報平面直角座標系番号	[平面直角座標]は、「1」から「19」もしくは、「01」から「19」でなければいけません。	[基準点情報平面直角座標系番号]は、「1」から「19」までの数値に限られます。確認の上、「1」から「19」までの数値を記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
9	適用要領基準	本要領の適用においては「電通 200406-01」でなければいけません。	本要領の適応する場合は、電通 200406-01 で固定です。「電通 200406-01」と記入してください。
10	共通情報/対象工種-数値 図面情報/対象工種-数値	[対象工種-数値]は「001」から「025」もしくは、「100」から「999」の数字でなければいけません。	[対象工種-数値]は「001」から「025」を記入して下さい。追加の場合は「100」から「999」の間で重複しないように記入して下さい。また、追加の場合は、[追加対象工種-数値]と[追加対象工種-概要]の記入を行ってください。
11	共通情報/対象工種-数値	[対象工種-数値]が重複しています。	重複しないよう、確認の上記入してください。
12	測地系	[測地系]は「00」か「01」の数字でなければいけません。	日本測地系の場合は「00」、世界測地系の場合は「01」と記入してください。
13	共通情報/対象工種-数値	[追加対象工種-数値]に数字が記入されていません。	[対象工種-数値]に 100～999 の記入がある場合には、追加工種として[追加対象工種-数値]及び[追加対象工種-概要]の記入が必須です。例えば、[対象工種-数値]に 100 を記入した場合、[追加対象工種-数値]に 100 を記入して、それに対する[追加対象工種-概要]を記入します。
14	追加対象工種-数値	[追加対象工種-数値]は「100」から「999」の数字でなければいけません。	[追加対象工種-数値]は「100」から「999」の間で、対象工種-数値に記入した数値を記入して下さい。
15	追加対象工種-数値	[追加対象工種-数値]が重複しています。	[追加対象工種-数値]が重複して記入されています。重複しないように記入してください。
16	図面ファイル名	[図面ファイル名]が重複しています。	DRAWING.XML のなかで、重複しないように確認の上、記入してください。
17	新規レイヤ-略語	対象となる図面ファイル中に、記入されていない新規レイヤ名が記入されています。	図面ファイル上で新規に作成したレイヤの略語を記入してください。
18	図面情報/対象工種-数値	[共通情報]の[対象工種-数値]に記入されていない数値です。	確認の上、[共通情報]の[対象工種-数値]に記入されている数値を記入してください。
19	格納サブフォルダ	[共通情報]の[サブフォルダ]の[追加サブフォルダ]に記入されていないフォルダ名があります。	確認の上、[共通情報]の[サブフォルダ]の[追加サブフォルダ]に記入されているフォルダ名を記入してください。
20	基準点情報緯度 基準点情報経度	基準点情報・緯度経度に誤りがあります。経度の場合は度を-180～180、緯度の場合は度を-090～090、分と秒は 00～59 で記入してください。	例えば、東経 153° 3' 12" であれば、1530312 の様に記入して下さい。西経、南緯の場合は-を先頭につけて下さい。該当が無い場合は、「99999999」を記入して下さい。

No.	項目名	エラーメッセージ	メッセージへの対処
21	基準点情報緯度 基準点情報経度	【注意】 経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。	緯度、経度を日本の範囲を超えています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55' 59" ～ 153° 59' 12" 北緯：20° 25' 14" ～ 45° 33' 19"。

(13) BORING.XML (地質情報管理ファイル : DTD バージョン 1.50\*)

※地質・土質調査成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	柱状図区分	[柱状図区分]は、「土質」「岩盤」「地すべり」「その他」でなければいけません。	[柱状図区分]は「土質」「岩盤」「地すべり」「その他」を対象としています。上記意外の記述は認められません。
2	ボーリング交換用データファイル名 電子柱状図ファイル名 電子簡略柱状図ファイル名	ファイル名が命名規則に合っていないです。	ファイル命名規則は、以下のとおりです。 ・ボーリング交換用データ : BEDNNNN.XML ・電子柱状図 : BRGNNNN.PDF ・電子簡略柱状図 : BRGNNNN.拡張子(CAD) ※NNNNは連番
3	ボーリング交換用データファイル名 電子柱状図ファイル名 電子簡略柱状図ファイル名	BORING.XMLに同じファイル名が記入されています。	ボーリング交換用データファイル名]、[電子柱状図ファイル名]、[電子簡略柱状図ファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
4	ボーリング交換用データファイル名	BORING.XMLに記入されているファイルがBORING¥DATAに存在しません。	このエラーについては以下の原因が考えられます。確認の上、修正して下さい。 ・管理ファイルのファイル名称の記述が間違っている。 ・DATAフォルダ内に記述したファイルがない。
5	電子柱状図ファイル名	BORING.XMLに記入されているファイルがBORING¥LOGに存在しません。	このエラーについては以下の原因が考えられます。確認の上、修正して下さい。 ・管理ファイルのファイル名称の記述が間違っている。 ・LOGフォルダ内に記述したファイルがない。
6	電子簡略柱状図ファイル名	BORING.XMLに記入されているファイルがBORING¥DRAに存在しません。	このエラーについては以下の原因が考えられます。確認の上、修正して下さい。 ・管理ファイルのファイル名称の記述が間違っている。 ・DRAフォルダ内に記述したファイルがない。
7	測地系	[測地系]は「0」または「1」の数字でなければいけません。	緯度、経度の情報が旧測地系であれば「0」、新測地系であれば「1」と記述してください。
8	経度_秒 緯度_秒 孔口標高 掘進長	数値型で記入されていません。	数値型で記入してください。
9	経度_度 経度_分 緯度_度 緯度_分	整数値型で記入されていません。	整数値型で記入してください。
10	ボーリング連番	番号が連番になっていないと見えます。	1から連番で記述してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
11	経度_度	【注意】経度の[度]が日本の範囲(122~153)を超えています。	【注意】経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55' 59" ~153° 59' 12" 北緯：20° 25' 14" ~45° 33' 19"
12	緯度_度	【注意】緯度の[度]が日本の範囲(20~45)を超えています。	【注意】経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55' 59" ~153° 59' 12" 北緯：20° 25' 14" ~45° 33' 19"
13	経度_度	「-180」～「180」の範囲でなければいけません。	「-180」～「180」の数字を記入してください。
14	緯度_度	「-90」～「90」の範囲でなければいけません。	「-90」～「90」の数字を記入してください。
15	経度_分 緯度_分	緯度経度の[分]は「0」～「59」でなければいけません。	「0」～「59」の数字を記入して下さい。
16	経度_秒 緯度_秒	緯度経度の[秒]は「0.0000」～「59.9999」でなければいけません。	「0.0000」～「59.9999」の数字を記入して下さい。
17	ボーリング交換用データファイル名 電子柱状図ファイル名 電子簡略柱状図ファイル名	ファイル名の nnnn (BEDnnnn.XML) がボーリング連番と異なります。	ファイル名の nnnn にあたる部分は 0001 からの連番をつけてください。
18	適用要領基準	[適用要領基準]は、平成 16 年度 6 月版の適用においては「電通 200406-01」を記入しなければなりません。	電気通信設備の場合は、電通 200406-01 で固定です。「電通 200406-01」と記入してください。

(14) BEDnnnn.XML (ボーリング交換用データファイル: DTD バージョン 2.10\*)

※地質・土質調査成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	テクリスコード	TECRIS の発注機関コードに無いコードが記入されています。	ボーリング交換用データのTECRIS コードは、TECRIS の発注機関コードを入力します。TECRIS 登録番号ではありません。
2	調査期間_開始年月日 調査期間_終了年月日 孔内水位_測定年月日 掘削工程_測定年月日	CCYY-MM-DD の書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2003 年 3 月 31 日の場合「2003-03-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
3	調査目的	「01」～「18」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
4	調査対象	「01」～「21」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
5	取得方法コード	「01」～「03」、または「09」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
6	読取精度コード	「0」～「4」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「0」の場合、「0」と記入してください。
7	測地系	「0」または「1」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。「0」または「1」を記入してください。
8	ルジオン試験_ルジオン値区分	「1」または「2」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。「1」または「2」を記入してください。
9	ハンマー落下用具_コード 櫓種類コード 孔内水位_掘削状況コード 保孔管_種別コード	「1」～「4」または「9」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
10	孔内水平載荷試験_試験方法コード	「01」～「03」、または「99」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
11	透水試験_試験コード	「01」～「03」、「10」、「20」、「30」または「99」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
12	試錐機_方法 孔径孔壁保護_孔壁保護コード 送水条件_送水種類コード	「1」～「3」、または「9」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
13	相対密度_コード 相対稠度_コード	「0」～「5」、または「9」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「0」の場合、「0」と記入してください。
14	N値記録用具_コード ルジオン試験_圧力管理方法コード 地下水検層試験_試験方法コード	「1」、「2」、または「9」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
15	ルジオン試験_試験番号 地下水検層試験_試験番号	連番でなければいけません。	1から連番で記述してください。
16	取得方法説明 ハンマー落下用具_名称 N値記録用具_名称 櫓種類名称 ルジオン試験_圧力管理方法 相対密度_状態 相対稠度_状態 孔内水平載荷試験_試験方法 透水試験_試験方法 試料採取_採取方法 地質時代_時代名 孔内水位_掘削状況 孔径孔壁保護_孔壁保護方法 送水条件_送水種類 断層破碎帯区分_性状	「その他」のコードを選択した場合は、記入しなければいけません。	「その他」のコード(例:9や99等)を選択した場合は、内容を必ず記入してください。
17	試料採取_採取方法コード 地質時代_コード 孔内水位_水位種別コード	コードが存在しません。	存在しないコードを記入されています。コード確認の上、記入してください。
18	硬軟区分_硬軟区分 コア形状区分_コア形状区分 割れ目区分_割れ目区分 風化区分_風化区分 変質区分_変質区分 岩級区分_岩級区分	このコードは、判定表のコードに存在しません。	存在しないコードを記入されています。コード確認の上、記入してください。
19	地下水検層試験詳細データ_試験番号	V1様式に試験番号が存在しません。	V1様式の地下水検層試験の試験番号に記入した試験番号を記入してください。



No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
20	ボーリング連番 経度_度 経度_分 経度_秒 緯度_度 緯度_分 緯度_秒 孔口標高 総掘進長 柱状図様式	BORING.XML の対応する項目の記入内容と一致しません。	BORING.XML に、同じもしくは同じ意味の項目があります。その項目の値と同じ値を記入してください。
21	コード1次 コード2次 コード3次	経度緯度情報から算出されるメッシュコードと異なります。	「経度緯度情報」から算出される、メッシュコード（「コード1次」、「コード2次」、「コード3次」）と異なります。再度確認の上、記入してください。
22	掘進角度 掘進方向 地盤勾配 試錐機_能力 エンジン_能力 ポンプ_能力 土質岩種区分_下端深度 色調_下端深度 観察記事_上端深度 観察記事_下端深度 観察記事枠線_下端深度 標準貫入試験_開始深度 標準貫入試験詳細データ_開始深度 ルジオン試験_上端深度 ルジオン試験_下端深度 ルジオン試験_圧力最大スケール ルジオン試験_注入量最大スケール ルジオン試験_圧力開始点 ルジオン試験_注入量開始点 ルジオン試験_ルジオン値 ルジオン試験_限界圧力 ルジオン試験詳細データ_有効圧力 ルジオン試験詳細データ_注入量 相対密度稠度_下端深度 硬軟区分_下端深度 コア形状区分_下端深度 割れ目区分_下端深度 風化区分_下端深度 変質区分_下端深度 孔内水平載荷試験_試験深度 孔内水平載荷試験_初期圧	数値型で記入されていません。	数値型で記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
22	孔内水平載荷試験_降伏圧 孔内水平載荷試験_変形係数 孔内水平載荷試験_割線弾性係数 孔内水平載荷試験_接線弾性係数 透水試験_上端深度 透水試験_下端深度 透水試験_透水係数 P波試験_上端深度 P波試験_下端深度 P波試験_速度 S波試験_上端深度 S波試験_下端深度 S波試験_速度 その他原位置試験_上端深度 その他原位置試験_下端深度 試料採取_上端深度 試料採取_下端深度 地盤分類_下端深度 地質時代_上端深度 地質時代_下端深度 地層岩体区分_上端深度 地層岩体区分_下端深度 孔内水位_孔内水位 掘削工程_掘進深度 掘削工程_ケーシング下端深度 孔径孔壁保護_下端深度 孔径孔壁保護_孔径 掘進速度_下端深度 掘進速度_掘進速度 コアチューブビット_下端深度 給圧条件_下端深度 給圧条件_給圧 回転数_下端深度 回転数_回転数 送水条件_下端深度 送水条件_送水圧 送水条件_送水量 送水条件_排水量 断層破碎帯区分_上端深度 断層破碎帯区分_下端深度 コア採取率_下端深度 コア採取率_採取率 最大コア長_下端深度 最大コア長_コア長 RQD_下端深度 RQD_RQD 岩級区分_下端深度 保孔管_下端深度 計測機器_上端深度 計測機器_下端深度	数値型で記入されていません。	数値型で記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
22	地下水検層試験_上端深度 地下水検層試験_下端深度 地下水検層試験_掘削深度 地下水検層試験_孔内水位 地下水検層試験_電解質溶液濃度 地下水検層試験詳細データ_測定深度 地下水検層試験詳細データ_比抵抗値 地下水検層試験判定結果_上端深度 地下水検層試験判定結果_下端深度 備考_上端深度 備考_下端深度	数値型で記入されていません。	数値型で記入してください。
23	土質岩種区分_下端深度 色調_下端深度 観察記事枠線_下端深度 標準貫入試験_開始深度 標準貫入試験詳細データ_開始深度 相対密度稠度_下端深度 硬軟区分_下端深度 コア形状区分_下端深度 割れ目区分_下端深度 風化区分_下端深度 変質区分_下端深度 孔内水平載荷試験_試験深度 地盤分類_下端深度 コア採取率_下端深度 最大コア長_下端深度 RQD_下端深度 岩級区分_下端深度 保孔管_下端深度	1つ前の深度より小さい値となっているか正しい値が入力されていません。	1つ前の深度より大きい深い値を記入してください。
24	土質岩種区分_下端深度 色調_下端深度 観察記事_下端深度 観察記事枠線_下端深度 標準貫入試験_開始深度 標準貫入試験詳細データ_開始深度 ルジオン試験_下端深度 相対密度稠度_下端深度 硬軟区分_下端深度 コア形状区分_下端深度 割れ目区分_下端深度 風化区分_下端深度 変質区分_下端深度 孔内水平載荷試験_試験深度 透水試験_下端深度	【注意】最終深度は、総掘進長以下でなければいけません。ただし、最終深度で標準貫入試験等の試験を実施している場合は問題ありません。	最終深度は、総掘進長以下の値を記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
24	P波試験_下端深度 S波試験_下端深度 その他原位置試験_下端深度 試料採取_下端深度 地盤分類_下端深度 地質時代_下端深度 地層岩体区分_下端深度 掘削工程_掘進深度 掘削工程_ケーシング下端深度 孔径孔壁保護_下端深度 掘進速度_下端深度 コアチューブビット_下端深度 給圧条件_下端深度 回転数_下端深度 送水条件_下端深度 断層破碎帯区分_下端深度 コア採取率_下端深度 最大コア長_下端深度 RQD_下端深度 岩級区分_下端深度 保孔管_下端深度 計測機器_下端深度 地下水検層試験_下端深度 地下水検層試験判定結果_下端深度 備考_下端深度	【注意】最終深度は、総掘進長以下でなければいけません。ただし、最終深度で標準貫入試験等の試験を実施している場合は問題ありません。	最終深度は、総掘進長以下の値を記入してください。
25	観察記事_上端深度 ルジオン試験_上端深度 透水試験_上端深度 P波試験_上端深度 S波試験_上端深度 その他原位置試験_上端深度 試料採取_上端深度 地質時代_上端深度 地層岩体区分_上端深度 断層破碎帯区分_上端深度 計測機器_上端深度 地下水検層試験_上端深度 地下水検層試験判定結果_上端深度 備考_上端深度	1つ前の下端深度より小さい値となっているか正しい値が入力されていません。	1つ前の深度より大きい深い値を記入してください。
26	観察記事_下端深度 ルジオン試験_下端深度 透水試験_下端深度 P波試験_下端深度 S波試験_下端深度 その他原位置試験_下端深度 試料採取_下端深度 地質時代_下端深度 地層岩体区分_下端深度 断層破碎帯区分_下端深度	上端深度より小さい値となっているか正しい値が入力されていません。	下端深度は、上端深度以上の数値を記入して下さい。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
26	計測機器_下端深度 地下水検層試験_下端深度 地下水検層試験判定結果_下端深度 備考_下端深度	上端深度より小さい値となっているか正しい値が入力されていません。	下端深度は、上端深度以上の数値を記入して下さい。
27	標準貫入試験_合計打撃回数 標準貫入試験_合計貫入量	合計が誤っています。	合計が正しくありません。確認の上、合計値を記入してください。
28	掘進角度	「0.00」～「180.00」でなければいけません。	数値の範囲が誤っています。範囲内の数値を記入してください。 (0.00°～180.00°)
29	掘進方向	「-360.00」～「360.00」でなければいけません。	数値の範囲が誤っています。範囲内の数値を記入してください。 (-360.00°～360.00°)
30	地盤勾配	「-90.00」～「90.00」でなければいけません。	数値の範囲が誤っています。範囲内の数値を記入してください。 (-90.00°～90.00°)
31	ルジオン試験詳細データ_試験番号	E2 様式に試験番号が存在しません。	E2 様式のルジオン試験番号に記入した試験番号を記入してください。
32	断層破碎帯区分_性状コード	「1」～「6」、または「9」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
33	標準貫入試験_0_10 打撃回数 標準貫入試験_0_10 貫入量 標準貫入試験_10_20 打撃回数 標準貫入試験_10_20 貫入量 標準貫入試験_20_30 打撃回数 標準貫入試験_20_30 貫入量 標準貫入試験_合計打撃回数 標準貫入試験_合計貫入量 標準貫入試験詳細データ_打撃回数 標準貫入試験詳細データ_貫入量 標準貫入試験詳細データ_累積貫入量	整数値型で記入されていません。	整数値を記入してください。
34	調査期間_終了年月日	調査期間_開始年月日より前の年月日が入力されています。	確認の上、調査期間_開始年月日より後の年月日を記入してください。
35	硬軟区分判定表_コード コア形状区分判定表_コード 割れ目区分判定表_コード 風化区分判定表_コード 変質区分判定表_コード 岩級区分判定表_コード	「901」～「999」でなければいけません。	コードは「901」～「999」の範囲で記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
36	硬軟区分判定表_コード コア形状区分判定表_コード 割れ目区分判定表_コード 風化区分判定表_コード 変質区分判定表_コード 岩級区分判定表_コード	コードが重複しています。	コードは重複しないように記入してください。

(15) OTHRFLS.XML (その他電子情報管理ファイル: DTD バージョン 1.10\*)

※地質・土質調査成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	電子データファイル名	ファイル名が命名規則に合っていない。	[電子データファイル名]に記入されているファイル名が要領 (案) の命名規則に従っていません。要領 (案) の命名規則を確認して記入してください。
2	電子データファイル名	OTHRFLS.XML に記入されているファイルが存在しません。	[電子データファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルがBORING/OTHRFS フォルダ内に格納されていません。実ファイルを確認の上、XML に記入してください。
3	電子データファイル名	OTHRFLS.XML に同じファイル名が記入されています。	[電子データファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
4	適用要領基準	[適用要領基準]は、平成 16 年度 6 月版の適用においては「電通 200406-01」を記入しなければなりません。	電気通信設備の場合は、電通 200406-01 で固定です。「電通 200406-01」と記入してください。

(16) COREPIC.XML (コア写真管理ファイル : DTD バージョン 1.10\*)

※地質・土質調査成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	写真ファイル名	ファイル名が命名規則に合っていないです。	[写真ファイル名]に記入されているファイル名が要領(案)の命名規則に従っていません。要領(案)の命名規則を確認して記入してください。
2	写真ファイル名	同じファイル名が記入されています。	[写真ファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。
3	写真ファイル名	ファイルが存在しません。	[写真ファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルがBORING/PICフォルダ内に格納されていません。実ファイルを確認の上、XMLに記入してください。
4	撮影年月日	CCYY-MM-DDの書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば2003年3月31日の場合「2003-03-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
5	撮影時間	HH:MMの書式でなければいけません。	[撮影時間]が「HH:MM」の書式になっていません。「00:00～23:59」までの範囲で記入してください。午後3時50分の場合「15:30」と記入してください。
6	ボーリング連番	[写真ファイル名]と[ボーリング連番]が一致しません。	[ボーリング連番]に記入されている番号が[写真ファイル名]の番号と一致していません。対応する番号を記入してください。
7	ボーリング連番	BORING.XMLの[ボーリング連番]と一致しません。	[ボーリング連番]に記入されている番号に対応する「BORING.XML」の[ボーリング連番]が存在しません。対応する番号を記入してください。
8	コア下端深度	下端深度は上端深度以上でなければいけません。	[下端深度]には[上端深度]より大きな数値を記入してください。
9	コア上端深度 コア下端深度	数値型で記入されていません。	[下端深度]または[上端深度]は数値(実数)型で記入してください。
10	コア下端深度	【注意】最終深度は、総掘進長以下でなければいけません。ただし、最終深度で標準貫入試験等の試験を実施している場合は問題ありません。	最終の[下端深度]には、BORING.XMLの[掘進長]以下の数値を記入してください。
11	適用要領基準	[適用要領基準]は、平成16年度6月版の適用においては「電通200406-01」を記入しなければなりません。	電気通信設備の場合は、電通200406-01で固定です。「電通200406-01」と記入してください。



(17) GRNDTST.XML (土質試験及び地番調査管理ファイル: DTD バージョン 1.20\*)

※地質・土質調査成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	フォルダ名	フォルダ名が命名規則に合 っていません。	[フォルダ名]に記入されているフ ォルダ名が要領 (案) の命名規則に 従っていません。要領 (案) の命名 規則を確認して記入してください。
2	フォルダ名	フォルダが存在しません。	[フォルダ名]に記入されているフ ォルダ名の実フォルダが BORING/TEST 以下に存在していませ ん。実フォルダを確認の上、XML に 記入してください。
3	電子データシートファ イル名 データシート交換用デ ータファイル名 デジタル試料供試体写 真ファイル名	ファイル名が命名規則に合 っていません。	[電子データシートのファイル名] または、[データシート交換用デー タのファイル名]または、[デジタル 試料供試体写真ファイル名]に記入 されているファイル名が要領 (案) の命名規則に従っていません。要領 (案) の命名規則を確認して記入し てください。
4	電子データシートファ イル名 データシート交換用デ ータファイル名 デジタル試料供試体写 真ファイル名	同じファイル名が記入され ています。	[電子データシートのファイル名] または、[データシート交換用デー タのファイル名]または、[デジタル 試料供試体写真ファイル名]にファ イル名が重複して記入されていま す。ファイル名は重複しないように 記入してください。
5	電子データシートファ イル名 データシート交換用デ ータファイル名 デジタル試料供試体写 真ファイル名	ファイルが存在しません。	[電子データシートのファイル名] または、[データシート交換用デー タのファイル名]または、[デジタル 試料供試体写真ファイル名]に記入 されているファイル名の実ファイ ルが BORING/TEST 以下のフォルダ内 に格納されていません。実ファイ ルを確認の上、XML に記入してくださ い。
6	試料採取情報	「0」または「1」でなければ いけません。	[試料採取情報]には、乱れの少ない 試料であれば「0」、乱れた試料であ れば「1」のいずれかの数字を記入 してください。
7	試験開始年月日 試験終了年月日	CCYY-MM-DD の書式でないか 年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2003 年 3 月 31 日の場合「2003-03-31」の書 式で記入してください。また、例え ば月の場合「01」～「12」以外の数 値を記入した場合にも本エラーが 発生します。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
8	ボーリング交換用データファイル名	ボーリング交換用データとフォルダ名が一致しません。	BORING.XMLの[ボーリング交換用データファイル名]の連番と[フォルダ名]の連番を一致させてください。(BRGnnnn nnnnが連番)。連番が「1」であれば、フォルダ名はBRG0001となります。
9	ボーリング交換用データファイル名	BORING.XMLの[ボーリング交換用データファイル名]と一致しません。	BORING.XMLの[ボーリング交換用データファイル名]に記入されているファイル名を記入してください。
10	試験下端深度	下端深度は上端深度以上でなければいけません。	[下端深度]には[上端深度]より大きな数値を記入してください。
11	経度_度	【注意】経度の[度]が日本の範囲(122~153)を超えています。	【注意】経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55′ 59″ ~153° 59′ 12″ 北緯：20° 25′ 14″ ~45° 33′ 19″
12	緯度_度	【注意】緯度の[度]が日本の範囲(20~45)を超えています。	【注意】経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55′ 59″ ~153° 59′ 12″ 北緯：20° 25′ 14″ ~45° 33′ 20″
13	経度_分 緯度_分	「0」～「59」でなければいけません。	「0」～「59」の数字を記入して下さい。
14	経度_秒 緯度_秒	「0.0000」～「59.9999」でなければいけません。	「0.0000」～「59.9999」の数字を記入して下さい。
15	経度_秒 緯度_秒 標高 試験上端深度 試験下端深度	数値型で記入されていません。	[標高]、[深度]などは数値型(実数)で記入してください。
16	経度_度 経度_分 経度_秒 緯度_度 緯度_分 緯度_秒 測地系 標高	BORING.XMLの対応する項目の記入内容と一致しません。	地質情報管理ファイル(BORING.XML)の記述と同じ内容を記入してください。
17	試験コード	地質・土質調査成果電子納品要領(案)[H16.6]に存在しないコードが記入されています。	地質整理要領案を確認の上、地質整理要領案に記載されているコードを記入してください。
18	規格番号	試験コード一覧に存在しない規格番号が記入されています。	地質整理要領案を確認の上、試験コードに該当するJIS規格番号を記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
19	基準番号	試験コード一覧に存在しない基準番号が記入されています。	地質整理要領案を確認の上、試験コードに該当する JGS 基準番号を記入してください。
20	試験終了年月日	試験開始年月日より前の年月日が記入されています。	試験開始年月日より後の年月日を記入してください。
21	経度_度 経度_分 緯度_度 緯度_分	整数値型で記入されていません。	数値型で記入してください。
22	測地系	[測地系]は「0」または「1」の数字でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
23	適用要領基準	[適用要領基準]は、平成 16 年度 6 月版の適用においては「電通 200406-01」を記入しなければなりません。	電気通信設備の場合は、電通 200406-01 で固定です。「電通 200406-01」と記入してください。
24	経度_度	「-180」～「180」の範囲でなければいけません。	「-180」～「180」の数字を記入してください。
25	緯度_度	「-90」～「90」の範囲でなければいけません。	「-90」～「90」の数字を記入してください。
26	デジタル試料供試体写真ファイル名	ファイルが存在しません。	[電子データシートのファイル名]または、[データシート交換用データのファイル名]または、[デジタル試料供試体写真ファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルが BORING/TEST 以下のフォルダ内に格納されていません。実ファイルを確認の上、XML に記入してください。

(18) STLIST.XML (土質試験一覧表データファイル：DTD バージョン 2.10\*)

※地質・土質調査成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	圧密試験方法コード せん断試験条件コード	地質・土質調査成果電子納品要領 (案) にないコードが記入されています。	試験コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「A1217」の場合、「A1217」と記入してください。規格外の試験の場合は、「99999」と記入してください。
2	試料の状態	「1」～「8」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
3	湿潤密度 乾燥密度 土粒子密度 自然含水比 間隙比 飽和度 石分 礫分 砂分 シルト分 粘土分 最大粒径 均等係数 液性限界 塑性限界 塑性指数 圧縮指数 圧密降伏応力 体積圧縮係数 圧密係数 一軸圧縮強さ 破壊ひずみ せん断強さ_全応力 せん断抵抗角_全応力 せん断強さ_有効応力 せん断抵抗角_有効応力 最大乾燥密度 最適含水比 CBR 試験_突固め回数 膨張比 貫入試験後含水比 平均 CBR 締固め度 修正 CBR コーン指数試験_突固め回数 コーン指数 qc	数値型で記入されていません。	数値型で記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
4	整理年月日	CCYY-MM-DD の書式でないか 年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2003 年 3 月 31 日の場合「2003-03-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。
5	経緯度取得方法	「01」～「03」、または「09」 でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
6	経緯度読取精度	「0」～「4」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
7	地点名 フォルダ名 経度_度 経度_分 経度_秒 緯度_度 緯度_分 緯度_秒 測地系 標高 試料番号 試料採取情報 上端深度 下端深度	この項目の値は、 GRNDTST.XML の対応する項目 の内容と一致しません。	GRNDTST.XML に、同じもしくは同じ意味の項目があります。その項目の値と同じ値を記入してください。
8	せん断試験条件	「その他」のコードを選択した場合は、記入しなければいけません。	「その他」のコード (例:9 や 99 等) を選択した場合は、内容を必ず記入してください。

(19) TSnnnmmm.XML (データシート交換用データファイル: DTDバージョン 2.00\*)

※地質・土質調査成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	T_IND_02.DTD 試験コード 試験名称 規格番号 基準番号 試験開始年月日 試験終了年月日 試験者 地点名 フォルダ名 経度_度 経度_分 経度_秒 緯度_度 緯度_分 緯度_秒 測地系 標高 試料番号 上端深度 下端深度	この項目の値は、GRNDTST の同様の項目の値と一致しません。	GRNDTST.XML に、同じもしくは同じ意味の項目があります。その項目の値と同じ値を記入してください。
2	T_GRP_02.DTD 目盛_種類 補助目盛_種類	「00」～「03」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
3	T_IND_02.DTD 経緯度読取精度	「0」～「4」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
4	T_IND_02.DTD 試料採取情報 T_GRP_02.DTD グラフの向き	「0」または「1」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
5	T_IND_02.DTD 試料連番	ファイル名の試料連番と一致しません。	試料連番はファイル名 TSnnnmmm の nnn と同じ値を記入してください。(ファイル名の nnn は試料連番を意味します。)
6	T_GRP_02.DTD グラフ番号 繰返し番号 データ項目番号 データ番号 使用する X 軸番号 使用する Y 軸番号	整数以外の値が記入されています。	整数型の数値を記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
6	軸番号 交差する軸番号 A1205_02. DTD 落下回数 A1210_02. DTD 突固め回数 突固め層数 測定 No A1211_02. DTD 空气中養生日数 水浸養生日数 突固め回数 突固め層数 A1217_02. DTD 载荷段階 A1218_02. DTD 測定 No A1226_02. DTD 強熱時間 A1227_02. DTD 圧密に要した時間 A1228_02. DTD 突固め回数 B0151_02. DTD 吸引法加圧法_測定段階 遠心法_測定段階 B0530_02. DTD 粒度階の数 粒度階 j B0542_02. DTD 軸変位計_大変位_数 軸変位計_小変位_数 回転角計_大変位_数 回転角計_小変位_数 金属製リブ_数量 サイクルデータポイント 数 载荷段階回数 载荷段階 サイクル	整数以外の記述がされていま す。	整数型の数値を記入してくださ い。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
7	A1210_02. DTD 試料の準備方法 試料の使用方法 A1211_02. DTD 試験方法 試験条件_試験条件 試料の準備方法 B0151_02. DTD 供試体の状態 試験過程 B0525_02. DTD 圧密中の排水方向 1 圧密中の排水方向 2 設定圧密応力の方法 圧密応力の載荷方法 強度特性状態 主応力差状態 B0527_02. DTD 排水条件 B0530_02. DTD 試料調整方法 分級の方法 B0541_02. DTD 荷重計位置 載荷ピストン摩擦補正 B0542_02. DTD 圧密条件 載荷波形 排水条件 B0551_02. DTD 試験基準 B0560_02. DTD 試料の状態 垂直力荷重計の位置 垂直力載荷装置の位置 可動箱	「1」または「2」でなければいけません。	GRNDTST.XML に、同じもしくは同じ意味の項目があります。その項目の値と同じ値を記入してください。
8	T_GRP_02. DTD イメージファイル名 A1216_02. DTD 供試体スケッチ B0051_02. DTD グラフイメージファイル名 B0521_02. DTD 供試体スケッチ B0525_02. DTD 供試体スケッチ B0527_02. DTD 供試体スケッチ B0541_02. DTD 供試体スケッチ	ファイル名が命名規則に合っていないです。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。



No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
8	B0542_02. DTD 供試体スケッチ 試験装置スケッチ 金属製リブスケッチ B0551_02. DTD 供試体スケッチ 試験装置スケッチ 金属製リブスケッチ	ファイル名が命名規則に合っていない。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
9	T_GRP_02. DTD 外枠線の書式_線種 データ系列_線_線種 軸_線種 目盛グリッド_線種 補助目盛グリッド_線種 線_線種 四角形_線種 円弧_線種	「00」～「04」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
10	T_GRP_02. DTD データ系列_点_スタイル 点_スタイル	「00」～「11」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
11	T_GRP_02. DTD 軸番号	連番でなければいけません。	連番になるように記入してください。
12	T_GRP_02. DTD 使用する X 軸番号 使用する Y 軸番号	[軸番号]に対応する番号が存在しません。	[使用する X 軸番号]または、[使用する Y 軸番号]は[軸番号]に記入されている値を記入してください。
13	T_GRP_02. DTD 軸タイトル_横書き縦書き 軸反転表示 目盛ラベル_横書き縦書き 四角形_塗りつぶし 文字_横書き縦書き	「00」または「01」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
14	T_GRP_02. DTD 軸タイトル_回転角 目盛ラベル_回転角 円弧_開始角度 円弧_終了角度 文字_回転角	「0」～「360」の範囲でなければいけません	0以上360以下の数値を記入してください。
15	T_GRP_02. DTD 使用する目盛	「00」～「02」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
16	T_GRP_02. DTD XY 値 線_XY	X、Y の値が数値でないか、X と Y がカンマ区切りで記入されていません。	X 値と Y 値をカンマで区切って記入してください。例)X が 25.6Y が 5.5 の場合 25.6,5.5 となります。
17	B0151_02. DTD 吸引法加圧法_試験方法	「1」～「4」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
18	B0211_02. DTD 使用標準液 B0541_02. DTD 軸ひずみの両振幅_コード	「1」～「5」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
19	B0541_02. DTD ゴムスリーブ貫入量	「1」～「3」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「1」の場合、「1」と記入してください。
20	T_GRP_02. DTD 軸の位置	「01」～「04」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
21	T_IND_02. DTD 経緯度取得方法_コード	「01」～「03」、または「09」でなければいけません。	コードは完全一致でなければエラーとなります。例えば選択するコードが「01」の場合、「01」と記入してください。
22	A1217_02. DTD 試験日	CCYY-MM-DD の書式でないか年月日が正しくありません。	年月日については、例えば 2003 年 3 月 31 日の場合「2003-03-31」の書式で記入してください。また、例えば月の場合「01」～「12」以外の数値を記入した場合にも本エラーが発生します。

(20) SURVY.XML (測量情報管理ファイル : DTD バージョン 2※)

※測量成果電子納品要領 (案) H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	基準点測量成果格納用フォルダ名	KITEN でなければいけません。	フォルダ名は KITEN です。「KITEN」と記入してください。
2	水準測量成果格納用フォルダ名	SUIJUN でなければいけません。	フォルダ名は SUIJUN です。「SUIJUN」と記入してください。
3	地形測量成果格納用フォルダ名	CHIKEI でなければいけません。	フォルダ名は CHIKEI です。「CHIKEI」と記入してください。
4	路線測量成果格納用フォルダ名	ROSEN でなければいけません。	フォルダ名は ROSEN です。「ROSEN」と記入してください。
5	河川測量成果格納用フォルダ名	KASEN でなければいけません。	フォルダ名は KASEN です。「KASEN」と記入してください。
6	用地測量成果格納用フォルダ名	YOUCHI でなければいけません。	フォルダ名は YOUCHI です。「YOUCHI」と記入してください。
7	ドキュメント格納用フォルダ名	DOC でなければいけません。	フォルダ名は DOC です。「DOC」と記入してください。
8	測量区分	「基準点測量」「水準測量」「地形測量」「路線測量」「河川測量」「用地測量」でなければいけません。	[測量区分]は「基準点測量」「水準測量」「地形測量」「路線測量」「河川測量」「用地測量」から選択して記入してください。
9	測量区域番号	「1」以上の値を記入してください。	[測量区域番号]には「1」以上の数値を記入してください。0 は不可です。
10	西側境界座標経度 東側境界座標経度 北側境界座標緯度 南側境界座標緯度	【注意】経度緯度情報が日本の領域の範囲外になっています。	緯度、経度が日本の範囲を超えています。日本の領域の範囲は以下のとおりです。東経：122° 55' 59" ～ 153° 59' 12" 北緯：20° 25' 14" ～ 45° 33' 19"。
11	東側境界座標経度	[東側境界座標]に[西側境界座標]より小さな値が記入されています。	[東側境界座標]と[西側境界座標]の座標を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。
12	南側境界座標緯度	[北側境界座標]に[南側境界座標]より小さな値が記入されています。	[北側境界座標]と[南側境界座標]の座標を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。
13	東側境界平面直角座標	[東側境界平面直角座標]に[西側境界平面直角座標]より小さな値が記入されています。	[東側境界平面直角座標]と[西側境界平面直角座標]を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。
14	南側境界平面直角座標	[北側境界平面直角座標]に[南側境界平面直角座標]より小さな値が記入されています。	[北側境界平面直角座標]と[南側境界平面直角座標]を入れ間違えている可能性があります。確認の上、記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
15	平面直角座標系	「1」から「19」でなければいけません。	[平面直角座標系]には「1」から「19」までの数値を記入してください。
16	測量細区分	要領にない測量細区分が記入されています。	[測量細区分]が要領に記入されているものと異なっています。要領を確認の上入力してください。
17	測量記録フォルダパス名 測量成果フォルダパス名 その他データフォルダパス名	要領にないフォルダパス名が記入されています。	[測量記録フォルダパス名]または[測量記録フォルダパス名]または[その他データフォルダパス名]は要領に規定されているパスを確認の上記入してください。
18	測量区域 No	[測量区域 No]は同一の番号が場所情報の[測量区域番号]に記入されている必要があります。	[測量区域 No]は、場所情報の[測量区域番号]に記入されている番号から選択して記入してください。
19	地図情報レベル	[等級]または[地図情報レベル]のいずれかを記入してください。	[等級]または[地図情報レベル]のいずれかを記入してください。
20	等級	要領にない等級コードが記入されています。基準点測量および水準測量以外の成果については、記入できません。	[等級コード]は要領に定められているコードを記入してください。
21	画像種別	「1」、「2」、「01」、「02」でなければいけません。	[画像種別]には、「1」、「2」、「01」、「02」を記入してください。
22	アナログデジタル区分	「1」または「2」でなければいけません。	[アナログデジタル区分]には、「1」か「2」を記入してください。
23	新規修正区分	「1」から「3」でなければいけません。	[新規修正区分]には、「1」から「3」のいずれかを記入してください。
24	点数 モデル	整数値を記入してください。	[点数]、[モデル]には整数値を記入してください。
25	西側境界座標経度 平面直角座標系	東西南北の境界座標を全て記入してください。[平面直角座標]の場合は[平面直角座標系]と東西南北の境界平面直角座標も記入してください。	[境界座標]を記入する場合は、東西南北の[境界座標経緯度]を記入してください。平面直角座標の場合は、平面直角座標系及び東西南北の境界平面直角座標を記入してください。
26	西側境界平面直角座標 東側境界平面直角座標 北側境界平面直角座標 南側境界平面直角座標	数値型で記入されていません。	数値型で記入してください。
27	適用要領基準	[適用要領基準]は、平成16年度6月版の適用においては「電通200406-02」または「電通200406-01」を記入しなければなりません。	電気通信設備の場合は、「電通200406-02」または「電通200406-01」です。「電子納品運用ガイドライン(案)【測量編】平成18年9月」を適用した場合は、「電通200406-02」と記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
28	助言番号	助言番号が誤っています。該当しない場合は「99999999」を入力してください。	公共測量の届け出を行い、国土地理院、地方測量部等から発行された番号「助言番号」を記入してください。ただし、該当しない場合は「99999999」（8桁）を記入してください。
29	西側境界座標経度 東側境界座標経度 北側境界座標緯度 南側境界座標緯度	度(3桁以内)分(2桁)秒(2桁)の形式になっていません。	例えば、東経 153° 3' 12" であれば、1530312 の様に記入して下さい。西経、南緯の場合は-を先頭につけて下さい。該当が無い場合は、「99999999」を記入して下さい。

(21) SURV\_XXX.XML (測量成果管理ファイル：DTDバージョン2\*)

※測量成果電子納品要領（案）H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	SURV_KTN.XML 測量区分フォルダ名	「KITEN」でなければいけません。	[測量区分フォルダ名]には、「KITEN」を記入してください。
2	SURV_SJN.XML 測量区分フォルダ名	「SUIJUN」でなければいけません。	[測量区分フォルダ名]には、「SUIJUN」を記入してください。
3	SURV_CHI.XML 測量区分フォルダ名	「CHIKEI」でなければいけません。	[測量区分フォルダ名]には、「CHIKEI」を記入してください。
4	SURV_RSN.XML 測量区分フォルダ名	「ROSEN」でなければいけません。	[測量区分フォルダ名]には、「ROSEN」を記入してください。
5	SURV_KSN.XML 測量区分フォルダ名	「KASEN」でなければいけません。	[測量区分フォルダ名]には、「KASEN」を記入してください。
6	SURV_YCH.XML 測量区分フォルダ名	「YOUCHI」でなければいけません。	[測量区分フォルダ名]には、「YOUCHI」を記入してください。
7	SURV_XXX.XML 測量成果区分フォルダ名	「WORK」「DATA」「OTHRs」でなければいけません。	[測量成果区分フォルダ名]には、「WORK」「DATA」「OTHRs」のいずれかのフォルダ名を記入してください。
8	SURV_XXX.XML 測量細区分フォルダ名	フォルダ名称が正しくありません。	測量成果電子納品要領(案)の表 2-2を参照して、フォルダ名称を記入してください。例えば基準点測量の1つ目のフォルダであれば「KTN_A」のようになります。
9	SURV_XXX.XML 測量細区分フォルダ名	フォルダが存在しません。	[測量区分フォルダ名]、[測量成果区分フォルダ名]、および [測量細区分フォルダ名] の組み合わせに対応する実フォルダが作成されていません。確認の上、作成してください。
10	SURV_XXX.XML 測量細区分フォルダ名	測量区分、測量成果区分、及び測量細区分のフォルダの組み合わせが測量情報管理ファイル (SURVEY.XML) の [測量記録フォルダパス名] または [測量成果フォルダパス名] または [その他データフォルダパス名] に存在しません。	[測量区分フォルダ名]、[測量成果区分フォルダ名]、および [測量細区分フォルダ名] の組み合わせに対応するフォルダパスが、SURVEY.XML の [測量記録フォルダパス名] または [測量成果フォルダパス名] または [その他データフォルダパス名] に記入されていません。対応するパスを記入してください。
11	SURV_XXX.XML 測量成果フォルダ名	ファイル名が命名規則に合っていないか、拡張子の種類が誤っています。	[成果ファイル情報] に記入されているファイル名が基準 (案) の命名規則に従っていません。基準 (案) の命名規則を確認して記入してください。
12	SURV_XXX.XML 測量成果フォルダ名	ファイル名が重複しています。	[成果ファイル情報] にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
13	SURV_XXX.XML 測量成果フォルダ名	ファイルが存在しません。	測量成果フォルダにファイルが存在しません。確認の上、記入してください。

## (22) FACILITY.XML (測量成果管理ファイル : DTDバージョン2\*)

※工事完成図書の電子納品要領 (案) 電気通信設備編 H16.6

No.	項目名	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	設備図書オリジナルファイル名	ファイル命名規則に合っていない。	[設備図書オリジナルファイル名]に記入されているファイル名が、要領(案)の命名規則に従っていません。要領(案)の命名規則を確認して記入してください。
2	設備図書オリジナルファイル名	FACILITY.XML に記入されているファイルが FACILITY/ORG フォルダに存在しません。	[設備図書オリジナルファイル名]に記入されているファイル名の実ファイルが FACILITY/ORG フォルダ内に格納されていません。実ファイルの名称を確認の上、XML に記入してください。
3	シリアル番号	番号が重複しています。	[シリアル番号]に数値が重複して記入されています。番号は重複しないように記入してください。
4	シリアル番号	先頭文字に0を付けてはいけません。	[シリアル番号]の数値の先頭に「0」をつけないでください。
5	設備図書オリジナルファイル名	FACILITY.XML に同じファイル名が記入されています。	[設備図書オリジナルファイル名]にファイル名が重複して記入されています。ファイル名は重複しないように記入してください。



#### 4.4 PDF に関するメッセージ

No	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	シオリが設定されていません。	シオリを作成してください。
2	標準パスワードセキュリティが設定されています。	PDF ファイルにパスワードが設定されています。パスワードを設定しない状態で保存してください。
3	印刷が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
4	文書変更が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
5	テキストとグラフィックの選択が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
6	注釈、フォームフィールド追加・変更の許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
7	文書アセンブリが許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
8	内容のコピーと抽出が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
9	アクセシビリティのための内容の抽出の許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
10	注釈が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
11	フォームフィールドの入力が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
12	署名が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
13	テンプレートページの作成が許可されていません。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
14	デジタル認証セキュリティが設定されています。	印刷許可、文書変更許可など文書のセキュリティ関係の設定は行わないでください。
15	このバージョンのPDFはチェックできません。	対象外のPDFのバージョンです
16	PDFのファイルサイズが〇〇MBを超えています。PDFのファイルサイズは受発注者協議により決定してください。	PDFファイルのサイズがチェックシステムの「設定/環境設定」で設定した値を超えた場合に表示されます。PDFファイルのサイズについては受発注者協議で決定してください。

#### 4.5 CADに関するメッセージ

No	エラーメッセージ	エラーへの対応
1	基準（案）に存在しないライフサイクルです。基準（案）に定義されていないライフサイクルであり受発注者協議で決定した名称であれば問題ありません。	レイヤ名の先頭（ライフサイクル）が <b>S</b> 、 <b>D</b> 、 <b>C</b> 、 <b>M</b> のいずれかを記入してください。また、地質断面図、地質平面図の場合は、レイヤ名の先頭に <b>S</b> を記入してください。
2	基準案に存在しないレイヤ名です。基準（案）に定義されていないレイヤ名であり受発注者協議で決定した名称であれば問題ありません。	図面ファイルに記入されているレイヤ名が基準（案）の命名規則に従っていません。基準（案）の命名規則を確認して記入してください。なお、レイヤ名はファイル名と関連づけてチェックを行っています。
3	その他の構造物等を表すレイヤ「OTRS」、または作業レイヤ「WORK」が含まれています。受発注者協議により決定したものであれば問題ありません。	その他の構造物等を表すレイヤ「OTRS」、または作業レイヤ「WORK」が含まれています。受発注者協議により決定したものであれば問題ありません。

電子納品チェックシステム（電気通信設備編）Ver3.6  
利用マニュアル  
初版発行 2007年4月  
2007年4月 第1版発行

Copyright (c) 2007 国土交通省 All rights reserved.